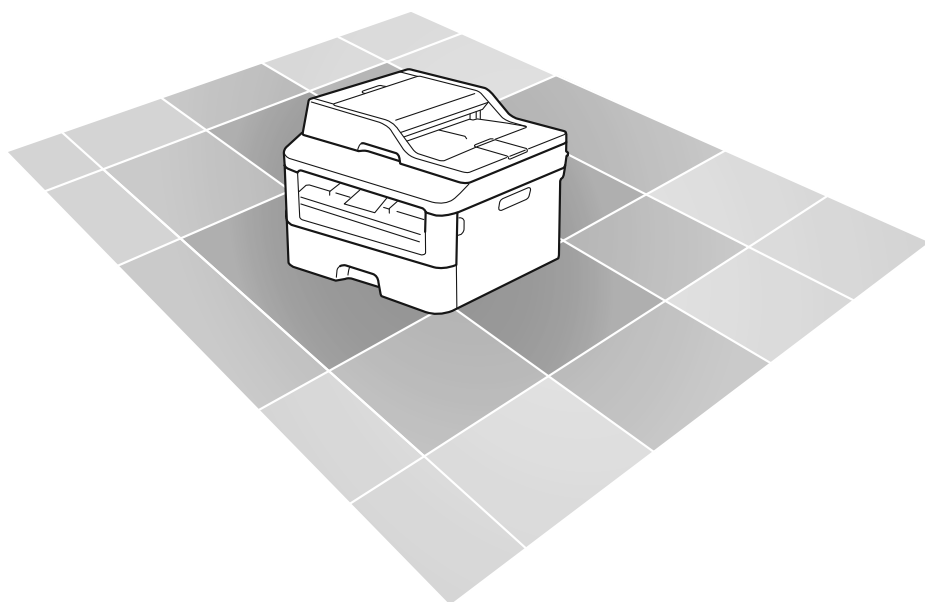


MultiWriter 200F



ユーザーズガイド 基本編

NEC、NEC ロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows Vista、Windows、およびWindows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Illustrator は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Apple、Macintosh、iPad、iPhone、iPod、iPod touchおよび OS X は、Apple Inc.の商標です。
MULTIWRITERは、富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

ご注意

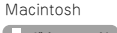
- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
- ⑥ 本製品は、外国為替及び外国貿易法および/または、米国輸出管理規則に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および/または、米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

マニュアル体系

■はじめにお読みください

安全にお使いいただくために 安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。	 冊子
かんたん設置ガイド 本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。	 シート

■用途に応じてお読みください

ユーザーズガイド 基本編 <本書> 基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。いつでも手に取って見られる場所に保管してください。	 冊子
ユーザーズガイド 応用編 全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。	Windows®  CD-ROM Macintosh  ダウンロード
ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。また、ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。そのほか、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。	

■弊社公式サイトからダウンロードしてご利用ください

Google クラウド プリント ガイド 本製品にGoogleアカウント情報を登録し、Googleクラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。
AirPrintガイド Mac OS X10.7以降、iPhone、iPod touch、iPad、またはiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法を説明しています。

- 冊子、CD-ROMは本製品に同梱されています。
- 各種マニュアルの最新版は弊社公式サイトからダウンロードできます。
<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/index.html>

NEC Utilitiesを起動する

NEC Utilities は、コンピューターにインストールされているNECアプリケーションに簡単にアクセスすることができる、アプリケーションランチャーです。

1 Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2の場合

 [スタート] - [すべてのプログラム] - [NEC] -  [NEC Utilities]の順にクリックします。

Windows® 8、Windows Server® 2012の場合

 [NEC Utilities]をタップまたはクリックします。

Windows® 8.1、Windows Server® 2012 R2の場合

スタート画面の左下にあるをクリックします。

タブレット端末をご使用の場合は、スタート画面の下から上方向にスワイプすると、アプリ画面が表示されます。アプリ画面が表示されたら、 [NEC Utilities]をタップまたはクリックします。

2 モデル名を選択する



3 使用したい機能を選択する

CD-ROM内のマニュアルを見るときは

付属のCD-ROMには、以下のマニュアルが収録されています。

- ・ ユーザーズガイド 応用編
- ・ ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

Windows® の場合

付属のCD-ROMからドライバやソフトウェアをコンピュータにインストールすると、マニュアルも自動的にインストールされます。

NEC Utilitiesを起動してモデル名を選択し、見たいマニュアルを選んでください。

NEC Utilitiesの起動方法は、⇒4ページ「NEC Utilitiesを起動する」を参照してください。

マニュアルがコンピュータにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されているマニュアルを見ることができます。

- 1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブにセットする
トップメニュー画面が表示されます。

補足

トップメニューの画面が表示されないときは、[コンピューター (マイ コンピュータ)] からCD-ROMドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックして画面を表示させてください。

Windows® 8をご使用の場合は、タスクバーから[エクスプローラー]—[コンピューター (PC)]の順にクリックして、CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックして画面を表示させてください。

- 2 [ユーザーズガイド] をクリックする



- 3 [画面で見るユーザーズガイド] をクリックする

収録されているマニュアルの目次が表示されます。



- 4 見たいマニュアルのタイトルをクリックする

マニュアルが表示されます。

Macintoshの場合

各種マニュアル(説明書)は、弊社公式サイト(<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/index.html>)からダウンロードできます。

目 次

マニュアル体系.....	3
NEC Utilitiesを起動する.....	4
CD-ROM内のマニュアルを見るときは.....	5
Windows® の場合.....	5
Macintoshの場合.....	5
目 次.....	6
本書の表記.....	10
マークについて.....	10
編集ならびに出版における通告.....	10
おすすめ機能.....	11
第 1 章 使う前に知ってほしいこと.....	14
各部の名称とはたらき.....	14
操作パネルの名称とはたらき.....	14
各部の名称.....	16
機能設定操作の基本.....	17
ナビゲーションキーを使った基本操作.....	17
ダイヤルボタンを使った基本操作.....	17
電源について.....	18
日付と時刻をセットする (時計セット).....	18
名前とファクス番号を登録する (発信元登録).....	19
無線設定時の文字入力について.....	20
電話回線のこと.....	21
自動で回線種別を設定する.....	21
第 2 章 まずは使ってみましょう.....	22
用紙（記録紙）の基本.....	22
用紙セットの流れ.....	22
セットできる用紙.....	23
使用できない用紙.....	24
標準トレイから印刷する.....	26
手差しスロットから印刷する.....	28
セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する.....	32
原稿の基本.....	33
原稿セットで注意すること.....	33
原稿をセットする.....	34
原稿の読み取り設定をする.....	35
ファクス送信の基本.....	36
ファクス送信の流れ.....	36
ファクスを手動で送信する.....	39
ファクス送信を中止する.....	39

ファクス受信の基本	40
ファクス受信の流れ	40
受信モードの種類	42
受信モードを設定する	46
呼び出しベル回数を設定する	46
再呼び出しベル回数を設定する	47
ファクス無鳴動受信を設定する	47
電話帳の基本	48
電話帳について	48
電話帳に登録する	49
グループダイヤルに登録する	51
電話帳を編集する	52
コピーの基本	54
コピーの流れ	54
コピー設定について	56
拡大・縮小コピーをする	57
1部ごとにコピーする	
〔ソートコピー〕	57
両面コピーをする	58
複数の原稿を1枚にまとめてコピーする	
〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕	59
画質を設定する	60
明るさを設定する	60
コントラストを設定する	61
2 in 1 IDコピーをする	62
プリントの基本	63
プリントの流れ	63
スキャンの基本	64
スキャンの流れ	64
第3章 日常のお手入れ	66
定期メンテナンス	66
原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する	67
コロナワイヤーの清掃	68
ドラムカートリッジの清掃	69
給紙ローラーの清掃	71
消耗品の交換	72
消耗品	72
トナーカートリッジとドラムカートリッジについて	73
トナーカートリッジとドラムカートリッジ交換時の注意	75
トナーカートリッジの交換	77
ドラムカートリッジの交換	80
本製品を再梱包するときは	83

第4章 困ったときには86

解決のステップ～修理依頼される前に～86

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！

(エラーメッセージ一覧)87

エラーが発生したときのファクスの転送方法91

紙がつまった！92

紙づまりのときのメッセージ92

原稿がつまったとき93

用紙（記録紙）がつまったとき95

原因がよくわからない！103

困ったときには（コピー／印刷）103

困ったときには（スキャン）120

困ったときには（電話／ファクス）120

困ったときには（その他）126

修理に出す前に129

修理依頼について129

プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して129

第5章 付録.....130

機能一覧130

<メニュー>ボタン130

主な仕様142

基本機能/コピー機能142

プリント機能144

スキャン機能145

ファクス機能145

ダイレクトファクス機能（PC-FAX）146

両面出力機能146

自動原稿送り装置146

Wi-Fi認証について147

簡単無線LAN設定147

停電がおきたときは147

保証について148

保証書について148

保証期間内の修理149

保証期間外の修理150

情報サービスについて150

リサイクル・廃棄のこと151

使用済みカートリッジ回収について151

本製品の廃棄について151

索引152

付属のCD-ROMに収録 「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第1章 全体にかかわる設定

- 電話回線設定
- 音量設定
- 省エネ設定
- トナー設定
- 液晶ディスプレイ設定
- モード設定
- 日付・時刻設定
- セキュリティ設定
- ナンバー・ディスプレイ設定

第2章 ファクス送信

- 便利な送信方法
- 便利な送信設定
- 便利な宛先指定機能
- ファクス誤送信防止機能
(ダイヤル制限)を設定する
- 特別設定について

第3章 ファクス受信

- さまざまな受信方法
- 受信時の設定

第4章 転送・リモコン

- ファクス転送機能
- 外出先から本製品を操作する:リモコン機能

第5章 レポート・リスト

- レポート・リストの種類
- レポートの出力を設定する

第6章 必要なときに確認してほしいこと

- 文字を入力する
- 用紙(記録紙)のこと
- 原稿のこと
- 製品情報
- 設定機能の初期化
- 用語集

本書の表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電、やけどの原因になり、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電、やけどの原因になり、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
！ 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
 注記	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
 補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXXはページ、参照先)
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。
【XXX】	本製品の液晶ディスプレイ内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© NEC Corporation 2015. All rights reserved.

おすすめ機能

効率アップ おすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械に
まかせましょう



●ページ順に1部ごとコピー／プリント

・プリント⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
・コピー⇒57ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

簡単に印刷設定をしてみましょう

●おまかせ印刷

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に

●再ダイヤルを使用する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

送付書を自動的に付けられます

●送付書を付けて送信する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

●送付書のオリジナルコメントを登録する

1度にまとめて送りましょう

●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

留守中にファクスが届いても、外出
先でファクスを見られます

●他の場所のファクシミリに転送する

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

エコ おすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう

●消耗品の回収リサイクルについて

⇒151ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約

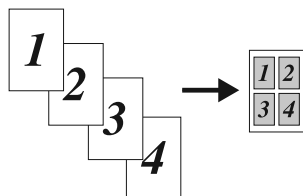
●両面コピー／両面プリント／両面ファクス

- ・コピー ⇒58ページ「両面コピーをする」
- ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
- ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

複数の原稿を1枚にまとめてコピー／プリントして節約

●レイアウトコピー／レイアウトプリント

- ・コピー ⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」
- ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク



コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約

●ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して1枚にまとめて節約

●自動的に縮小して印刷する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

通信費を節約

深夜割引[※]を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約

●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※ 深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約

●トナーを節約する〔トナー節約モード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

電力消費をおさえて節約

●スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 おすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
------------------------	------------------------------	--------------------------

キレイ おすすめ

最適なコピー／ファクス設定でキレイ

拡大／縮小を思いどおりに	●拡大・縮小コピーをする	⇒57 ページ「拡大・縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	・コピー ⇒60ページ「画質を設定する」 ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	●明るさを設定する	⇒60ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒61ページ「コントラストを設定する」
ファクス送信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

ファクス機能ボタン

● <再ダイヤル/ポーズ>ボタン

最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

● <オンフック>ボタン

ファクスを手動送信するときに押します。⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」

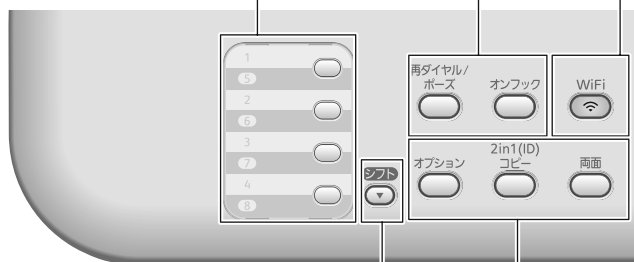
ワンタッチボタン

登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒ユーザーズガイド応用編「ファクス送信」

<WiFi>ボタン

お使いのコンピューターから付属CD-ROMのワイヤレスインストーラを起動して、<WiFi>を押します。画面上の指示に従い、無線LAN接続を設定してください。

本製品が無線LANアクセスポイントに接続しているとき、<WiFi>ボタンが点灯します。無線LANアクセスポイントとの接続が失敗したとき、または接続動作中は、<WiFi>ボタンが点滅します。無線LANアクセスポイントを使わない接続（アドホックモード）の場合は、<WiFi>ボタンは点灯しません。



<シフト>ボタン

ワンタッチダイヤルの5～8を登録またはダイヤルするときは、<シフト>ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

コピー機能ボタン

● <オプション>ボタン

明るさ、コントラスト、ソート、レイアウトコピー、コピー画質などを一時的に設定するときに押します。
⇒57ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」、
⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」、
⇒60ページ「明るさを設定する」、
⇒60ページ「画質を設定する」、
⇒61ページ「コントラストを設定する」

● <2in1 (ID)コピー>ボタン

2in1 IDコピーするときに押します。⇒62ページ「2 in 1 IDコピーをする」

● <両面>ボタン

両面コピーするときに押します。⇒58ページ「両面コピーをする」

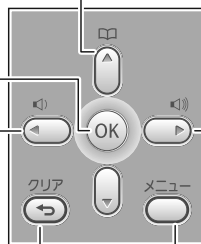
ナビゲーションキー

⇒17ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

ファクスモードのときに押すと短縮先の指定や電話帳の検索ができます。

機能を確定するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。



- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

機能を設定するときに押します。

液晶ディスプレイ

日時、現在の設定内容、操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。
長いメッセージはスクロール表示します。

MultiWriter 200F

ファクス

スキャン

コピー

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

<スタート>ボタン

コピー、ファクス、スキャンを開始するときなどに押します。

<停止/終了>ボタン

ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

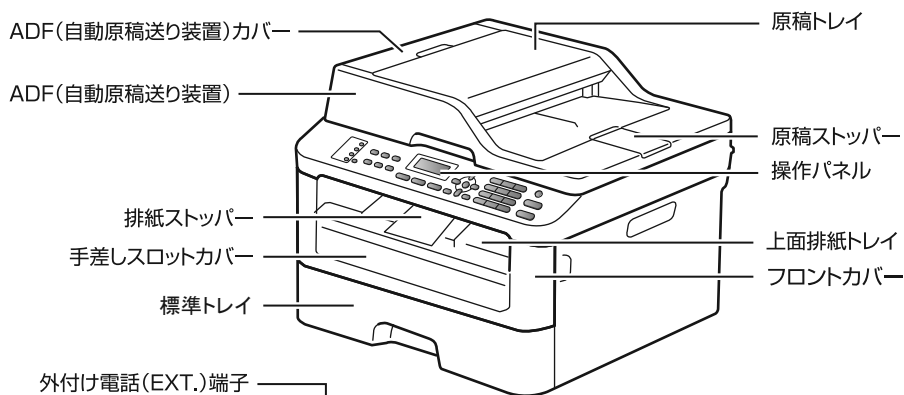
モード選択ボタン

ファクス/スキャン/コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンが点灯します。
⇒ユーザズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

電源ボタン

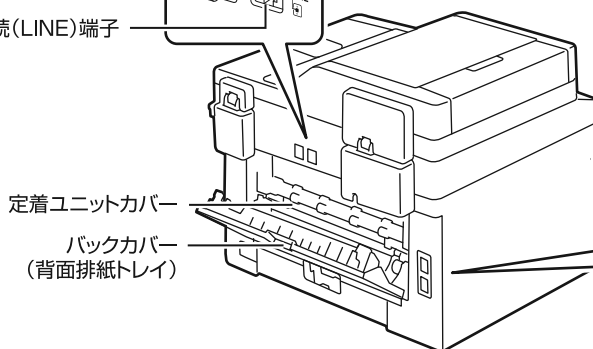
電源をオン/オフするときに押します。
⇒18ページ「電源について」

各部の名称



外付け電話(EXT.)端子
(お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。)

回線接続(LINE)端子



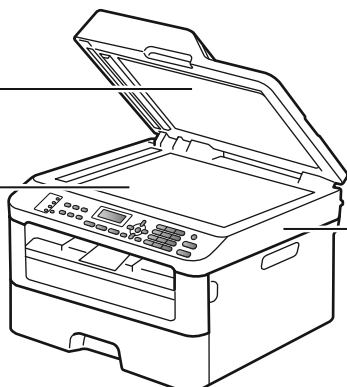
10BASE-T/
100BASE-TX
ポート

(お使いになるときは、
カバーを取り外して
ください。)

USBポート

原稿台カバー

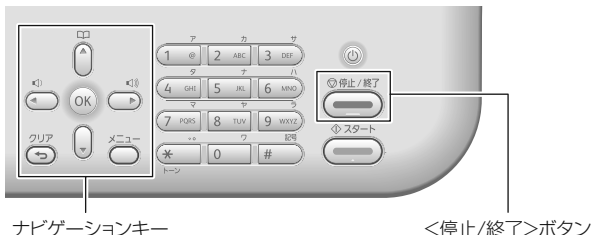
原稿台ガラス



機能設定操作の基本

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。



ナビゲーションキー

<停止/終了>ボタン

ナビゲーションキー	キーの役割
	メインメニューを表示する
	- 次のメニューレベルに移る - 選択項目を確定(決定)する
	メニュー内の項目を表示する
	- 前のメニューレベルに戻る - 着信音量を小さくする
	- 次のメニューレベルに進む - 着信音量を大きくする
	- 入力した文字や数字を削除する - 前のメニューレベルに戻る
停止 / 終了ボタン	キーの役割
	- 操作を中止するときや、設定を終了する - モード画面に戻る

ダイヤルボタンを使った基本操作

<メニュー>を押したあと、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力して、各種設定ができます。

補足

- 設定を途中で終了するときは、<停止/終了>を押してください。
- 機能の番号については、⇒130ページ「機能一覧」を参照してください。

電源について

⏻を押すと、本製品の電源をオン/オフできます。電源をオフすることで、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。本製品の電源がオフの場合でも、電話機コードが接続されていれば、外付け電話機での通話は可能です。

電源をオンにする

- 1 ⏻を押す

電源をオフにする

- 1 ⏻を2秒以上押す

液晶ディスプレイに【電源をオフにします】と表示され、電源がオフになります。

日付と時刻をセットする (時計セット)

発信元登録を行うと、ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の用紙に印刷されます。日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。

- 1 <メニュー>→<0>→<1>→<1>を押す

- 2 年号(西暦の下2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
例: 2015年の場合は<1>、<5>

- 3 月(2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
例: 8月の場合は<0>、<8>

- 4 日付(2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
例: 21日の場合は<2>、<1>

- 5 時刻(24時間制)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
例: 午後3時25分の場合は
<1>、<5>、<2>、<5>

- 6 <停止/終了>を押す

補足

入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。

名前とファクス番号を登録する (発信元登録)

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の用紙に印刷されます。

1 <メニュー>→<0>→<2>を押す

2 ファクス番号をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す

3 電話番号をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す

4 名前をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す

補足

- ファクス番号と電話番号は、20桁まで登録できます。カッコ【()】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、<クリア>を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号に同じ番号を入力してください。

5 <停止/終了>を押す

補足

リモートセットアップ機能を利用すると、コンピューターから発信元を登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

無線設定時の文字入力について

無線LANの設定では、操作パネルのダイヤルボタンから文字入力が必要な場合があります。操作パネルのダイヤルボタンを押すごとに、液晶ディスプレイに表示される文字が切り替わります。(例：a→b→c→A→B→C→2→a・・・の順に表示される文字が切り替わります。)

ボタン	入力できる文字
	@ . / 1
	a b c A B C 2
	d e f D E F 3
	g h i G H I 4
	j k l J K L 5
	m n o M N O 6
	p q r s P Q R S 7
	t u v T U V 8
	w x y z W X Y Z 9
	- (ハイフン) O \ { } ~
	" ° (スペース) ! " # \$ % & ` () * + , - . /
	. @ - _ ' (スペース) ; : < = > ? [] ^ ! " # \$ % & () * + , / € \ ` ~ { }

- スペースを入力する
スペースを入力する場合は、<＊>、または<#>ボタンを押し、<◀>、または<▶>を押して「(スペース)」にカーソルを移動させ、<OK>を押してください。
- 入力した文字を変更する
間違って入力した文字を変更したい場合は、<クリア>を押して文字を削除し、正しい文字を入力してください。
- 同じボタンの文字を続けて入力する
同じボタンの文字を続けて入力する場合は、文字を入力後、<▶>を押し、再度同じボタンの文字を入力してください。
- 記号を入力する
<＊>、または<#>ボタンを押し、<◀>、または<▶>を押して入力したい記号にカーソルを移動させ、<OK>を押してください。

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。

本製品は回線種別設定を【自動設定】に設定していただくことで、回線種別の自動設定をすることができます。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

プッシュ回線です : プッシュ回線に設定されたとき

ダイヤル20PPSです : ダイヤル回線(20PPS)に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、【電話機コード両端の接続をご確認ください。または、ご利用の回線業者にお問い合わせください。 1. OK 2. 中止】のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。
電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>または、<2>を押してください。
【接続を中止しますか? 1. はい 2. いいえ】と表示されますので<1>を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。
手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

用紙（記録紙）の基本

用紙セットの流れ

基本的な用紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 セットできる用紙を確認する

トレイの場所やセットできる用紙の種類などを確認して、用紙を準備します。

⇒23ページ「セットできる用紙」

⇒24ページ「使用できない用紙」



STEP 2 用紙をセットする

標準トレイまたは手差しスロットに用紙をセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分ご注意ください。

⇒26ページ「標準トレイから印刷する」

⇒28ページ「手差しスロットから印刷する」



STEP 3 セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている用紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした用紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした用紙と本体の設定内容が合っているかを必要に応じて確認してください。

⇒32ページ「セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する」

セットできる用紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の用紙をセットできます。

トレイ名称	用紙の種類	用紙のサイズ	枚数
標準トレイ	普通紙、普通紙（厚め） (60g/m ² ～105g/m ²) 再生紙 郵便ハガキ※ ¹	A4 レター B5（JIS） A5 A5（横置き） A6 ハガキ（同等品）	250枚（80g/m ² ） 30枚（郵便ハガキ）
手差しスロット	普通紙、普通紙（厚め） (60g/m ² ～105g/m ²) 厚紙、超厚紙 (105g/m ² ～163g/m ²) 再生紙 郵便ハガキ※ ² ラベル紙 封筒※ ²	ユーザー定義サイズ (幅76.2～215.9mm、 長さ127.0～355.6mm)	1枚

※ 1：⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。

※ 2：⇒ 30 ページ「封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、郵便ハガキに印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙をお使いください。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の用紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- マイリサイクルペーパー 100（坪量69g/m²、古紙/パルプ配合率100%）など、再生紙を利用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

使用できない用紙

⚠ 警告

電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となる恐れがあります。

！ 重要

以下のような用紙は絶対に使用しないでください。印刷品質が低下したり、本製品にダメージを与えたりする恐れがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

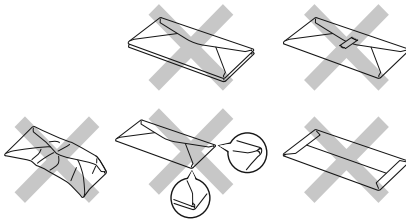
使用できない用紙

- 光沢紙
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った用紙
- 極端に滑らかな用紙
- 極端にざらつきのある用紙
- 極端に薄い用紙
- カールしている用紙
カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの用紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある用紙
- ホチキスや付箋の付いている用紙
- 指定された坪量を超える用紙
- 穴のあいた用紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の用紙
中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
紙づまりや複数枚の用紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている用紙や印刷済みの用紙
紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



注記

■ いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■ 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒には印刷できますが、封筒の仕上がりによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。

たくさんの封筒を購入する前に、必ず少数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。

標準トレイから印刷する

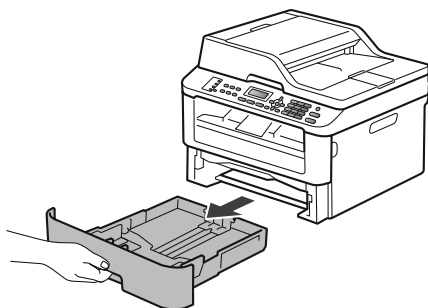
！重要

用紙ガイドが用紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で用紙がずれ、故障の原因になります。

注記

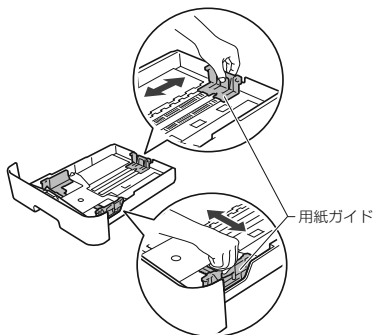
- 用紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。

1 標準トレイを本製品から完全に引き出す



2 緑色の用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する用紙サイズの表示位置に合わせる

緑色の用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

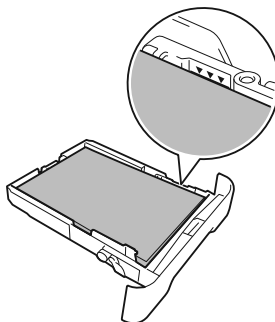


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばく



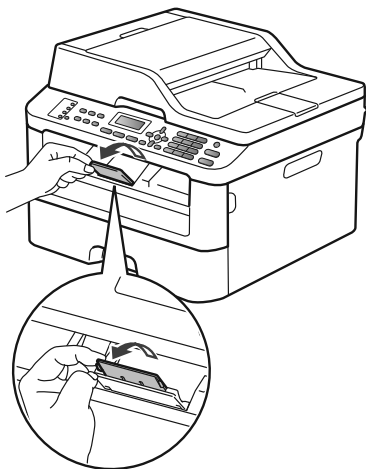
4 印字面を下にして標準トレイに用紙を入れる

- 用紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 用紙ガイドとセットした用紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



5 標準トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開ける



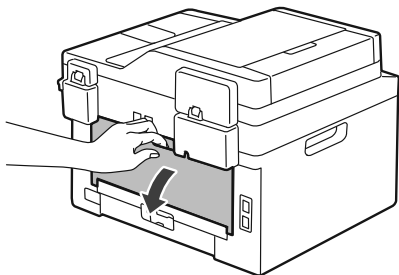
注記

印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

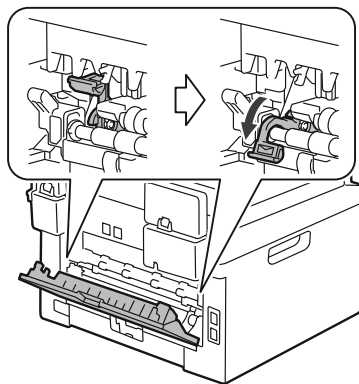
7 郵便ハガキに印刷する場合は、背面排紙トレイを準備する

郵便ハガキ以外に印刷する場合は、以下の手順は必要ありません。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



2 左右の緑色のレバーをイラストのように下げる

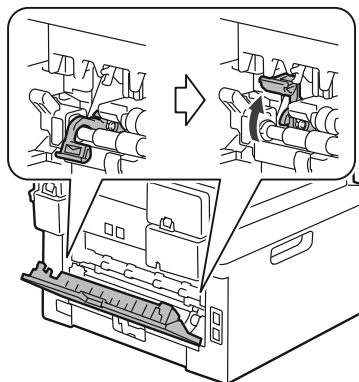


8 印刷する

プリントデータを送信します。

9 郵便ハガキに印刷した場合、バックカバー（背面排紙トレイ）を元に戻す

1 緑色のレバーを元の位置に戻す



2 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

補足

紙づまりしないように、印刷された用紙をすぐに取り出してください。

手差しスロットから印刷する

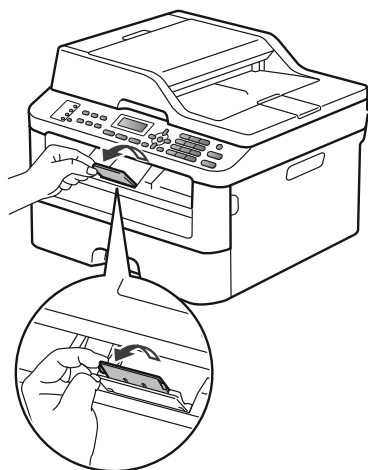
封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙は、手差しスロットにセットしてください。

補足

手差しスロットに用紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

普通紙、普通紙（厚め）、再生紙に印刷する場合

1 排紙ストッパーを開ける



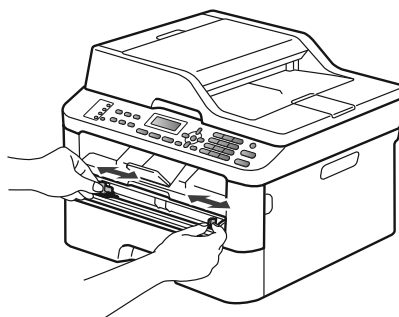
注記

印刷された用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないように、排紙ストッパーを開いてください。

2 手差しスロットカバーを開ける

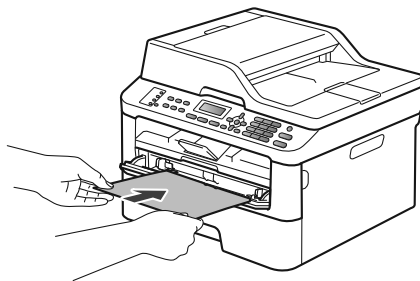


3 手差しガイドを両手で持って、用紙の幅に合わせる



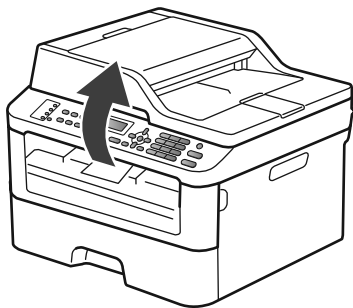
4 用紙を両手で持って、手差しスロットに挿入する

用紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、用紙が少し引き込まれたら、用紙から手を放します。

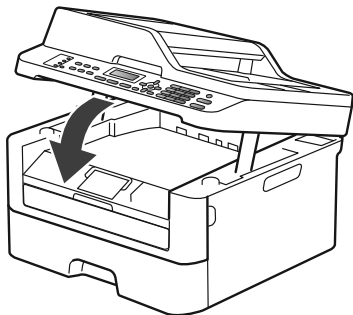


注記

- 液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】のメッセージが表示されたときは、本製品の内部に用紙がつまっています。用紙を取り出し、用紙を挿入し直してください。
- 印刷する面（白紙面）を上向きに（用紙の上部から手差しスロットに差し込むように）して、セットしてください。
- 用紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 用紙は1枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 排紙トレイに小さな用紙が排紙されたときは、イラストのようにスキャナーカバーを両手で上げると簡単に取り除くことができます。



本製品を使い続けるときは、両手でスキャナーカバーを押し下げて閉じてください。

**5 印刷する**

プリントデータを本製品に送信します。

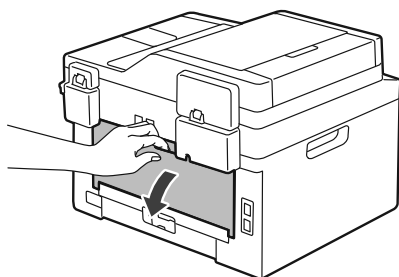
6 液晶ディスプレイに【手差し印刷】と表示されてから、手順4に戻り、次の用紙を挿入する

印刷したいページを全て印刷するまで、手順4を繰り返します。

封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、郵便ハガキに印刷する場合

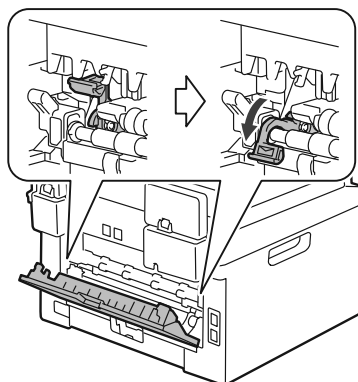
封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、郵便ハガキに印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

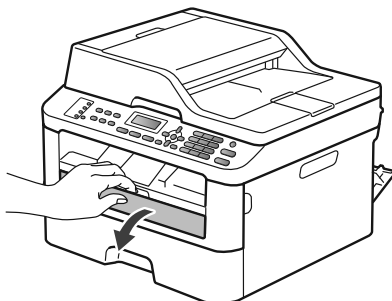


2 封筒、郵便ハガキに印刷する場合、左右の緑色のレバーをイラストのように下げる

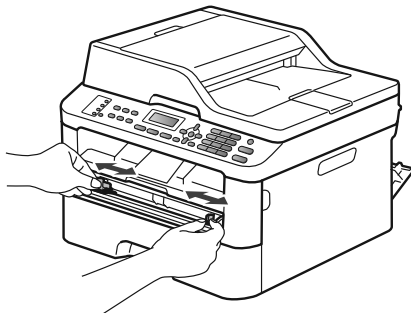
封筒、郵便ハガキ以外に印刷する場合は、この手順は必要ありません。



3 手差しスロットカバーを開ける

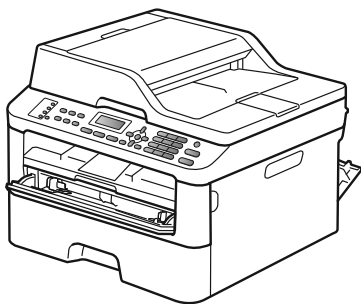


4 手差しガイドを両手で持って、用紙の幅に合わせる



5 用紙を両手で持って、手差しスロットに挿入する

用紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、用紙が少し引き込まれたら、用紙から手を放します。



注記

- 液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】のメッセージが表示されたときは、本製品の内部に用紙がつまっています。用紙を取り出し、用紙を挿入し直してください。
- 印刷する面（白紙面）を上向きに（用紙の上部から手差しスロットに差し込むように）して、セットしてください。
- 用紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 用紙は1枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。

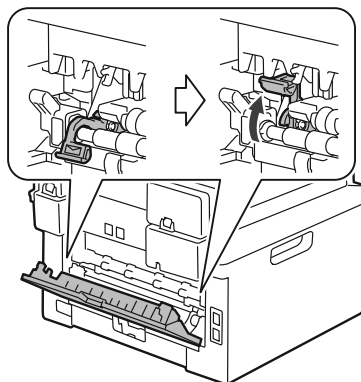
6 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

7 液晶ディスプレイに【手差し印刷】と表示されてから、手順5に戻り、次の用紙を挿入する

印刷したいページを全て印刷するまで、手順5を繰り返します。

8 封筒、郵便ハガキに印刷した場合、緑色のレバーを元の位置に戻す



9 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

補足

紙づまりしないように、印刷された用紙をすぐに取り出してください。

セットした用紙に合わせて本体の設定を変更する

標準トレイにセットした用紙の種類やサイズに合わせて、本体の設定を変更します。(お買い上げ時は「普通紙」「A4」に設定されています。)
コピー機能の場合、A4/USレター / A5/A5 L (A5 (横置き)) / A6/JIS B5/郵便ハガキサイズの用紙を使用できます。受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

用紙のサイズを変更する

標準トレイにセットした用紙のサイズを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<2>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して用紙サイズを選択し、<OK>を押す

【A4】 / 【USレター】 / 【A5】 / 【A5 L (A5 (横置き))】 / 【A6】 / 【JIS B5】 / 【ハガキ】から選択します。

3 <停止/終了>を押す

補足

- 適切なサイズの用紙がトレイにセットされていないとき、受信したファクスは本機のメモリーに保存され、【用紙サイズが合いません】のメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。対処方法については⇒87ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)」を参照してください。
- トレイに用紙が入っていないとき、【用紙を送れません】のメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。用紙をトレイにセットしてください。

用紙のタイプを変更する

標準トレイにセットした用紙のタイプを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して用紙タイプを選択し、<OK>を押す

【普通紙】 / 【普通紙(厚め)】 / 【厚紙】 / 【超厚紙】 / 【再生紙】 / 【ハガキ】から選択します。

3 <停止/終了>を押す

トレイ開閉時確認を設定する

トレイ開閉時確認は、本体の設定と標準トレイにセットした用紙サイズが一致するように、トレイの用紙設定を促すメッセージを表示します。
お買い上げ時の初期設定は、【オン】に設定されています。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<3>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して<オン>または<オフ>を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

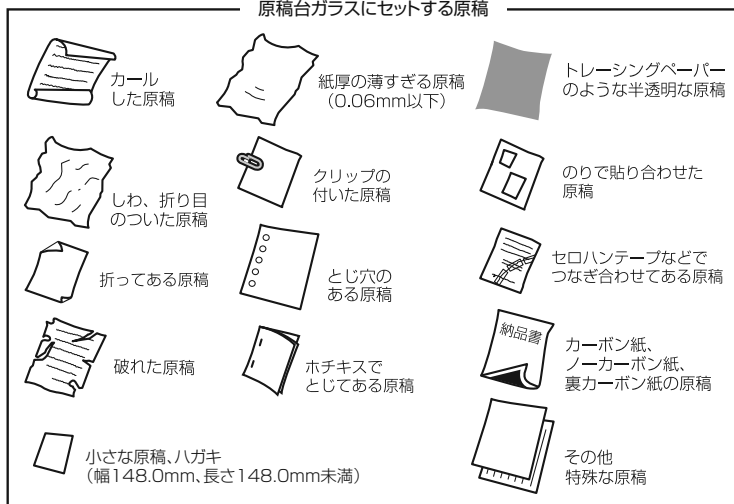
原稿の基本

原稿セットで注意事項

インクや修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップやホチキスの針は、故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

原稿台ガラスにセットする原稿



原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。

セットできる原稿については、⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

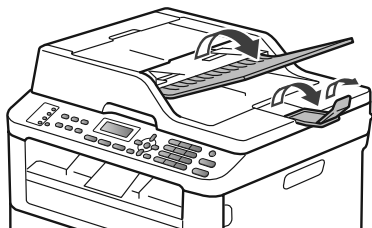
原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印刷品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒67ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）にセットする

原稿は一度に35枚までセットできます。ADFで読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：147.3～355.6mm
- 幅：147.3～215.9mm
- 用紙坪量：64～90g/㎡

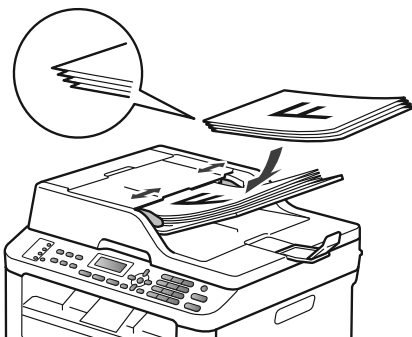
1 原稿トレイと原稿ストッパーを開ける



2 紙づまりを防ぐため、原稿をよくさばく

3 原稿の読み取る面を上にしてイラストのように原稿の先端をずらし、原稿の先端が軽く当たり、宛先入力画面が表示されるまで差し込む

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

原稿台で読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- ・長さ：最大300.0mm
- ・幅：最大215.9mm
- ・重さ：2.0kg

▲ 注意

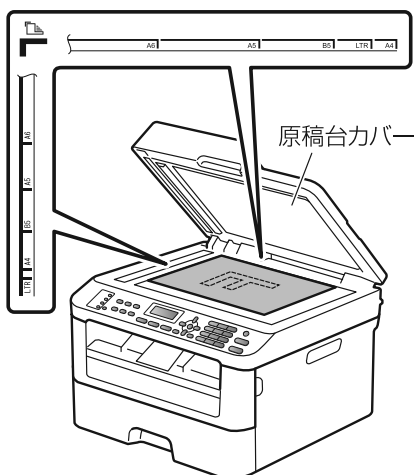
書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿台ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

注記

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

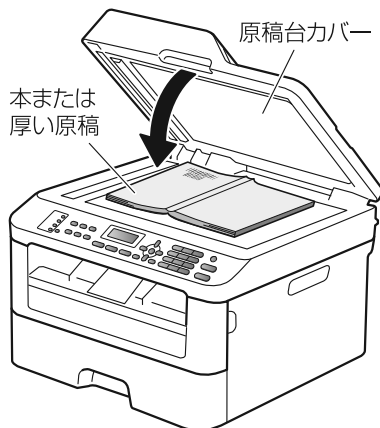
1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。



原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスをする場合の原稿読み取りサイズを選択します。(お買い上げ時は「A4」に設定されています。)

1 <メニュー>→<1>→<8>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>を押して読み取りサイズを選択し、<OK>を押す 【A4】 / 【USレター】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。手動送信については、⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。



原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。



- 【メモリがいっぱいです】と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数は、ファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

STEP 1 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒33ページ「原稿セットで注意すること」

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

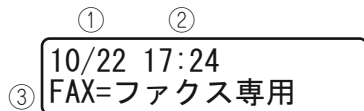
STEP 2 ファクスモードに切り替える

操作パネルの<ファクス>を押してファクスモードに切り替えます。

ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。



ファクスモードに切り替えると、以下のようなファクス標準画面に切り替わります。



①：月 / 日

②：現在の時刻

③：設定したファクスの受信モード

STEP 3 ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送りかたを設定します。

● 送信条件

- 同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 海外へ送信する〔海外送信モード〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 送付書を付けて送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 原稿読み取り

- 画質
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿濃度
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿台ガラスの読み取りサイズ
原稿台ガラスでA4サイズの原稿を読み取るときは、必ず【原稿台スキャンサイズ】を【A4】に設定してください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、<1>を押して他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、<2>を押したあと、「STEP 4 宛先を指定する」に進みます。

STEP 4 宛先を指定する

● 直接入力

- ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

- 本製品の電話帳に宛先を登録する
⇒48ページ「電話帳の基本」
- 電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

- 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- チェーンダイヤルを使用する ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」



STEP 5 スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

<スタート>を押して、ファクスを開始します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

<スタート>を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が1枚のとき

<2>または<スタート>を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が複数枚のとき

<1>を押して、次の原稿をセットしたあと<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>または<スタート>を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき

＜停止 / 終了＞→＜1＞を押します。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、＜オンフック＞を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

- 1** 原稿をセットして、ファクスモードに切り替える

- 2** < オンフック > を押して、相手先の
ファクス番号を入力する

- 3** 相手先の受信音（ピー）を確認して
＜スタート＞を押す

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で<1>を押します。

●●補足●●

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

- 1** <停止/終了>を押す

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の用紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリーで受信するメモリ受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

●補足●

受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

STEP 1 受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の4つの種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

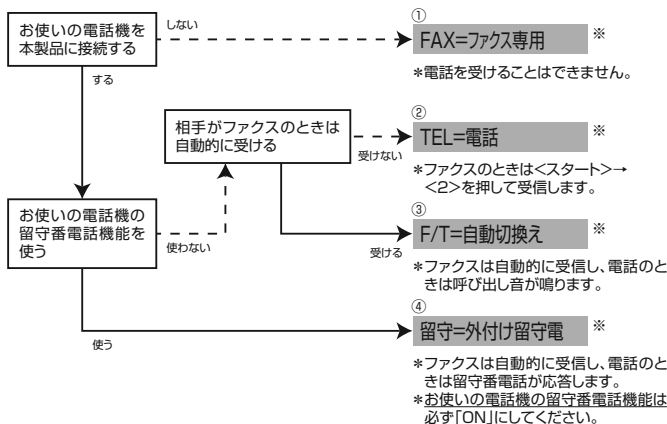
⇒42ページ「受信モードの種類」

●お使いの電話機を本製品と接続しない場合

- ① ファクス専用モード

●お使いの電話機を本製品と接続する場合

- ② 電話モード
③ 自動切換えモード
④ 外付け留守電モード



※受信モード設定時、液晶ディスプレイに表示される選択項目です。

STEP 2 受信モードを設定する

STEP 1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒46ページ「受信モードを設定する」

STEP 3 受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

⇒ユーザズガイド 応用編「ファクス受信」

- 自動的に縮小して印刷する
- 受信スタンプを設定する
- 受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリ代行受信）

以下の場合、送られてきたファクスを自動的にメモリに記憶します。

- ・用紙がなくなったとき
- ・トナーがなくなったとき
- ・用紙が詰まったとき
- ・間違ったサイズの用紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリに記憶された内容を印刷できます。

補足

- メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。
- メモリ代行受信できるのは約400ページです。

受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

呼び出しベルが設定した回数だけ鳴ります。
(呼び出しベル回数は0～10回の中から選択できます。)

相手がファクスのとき
自動で受信します。

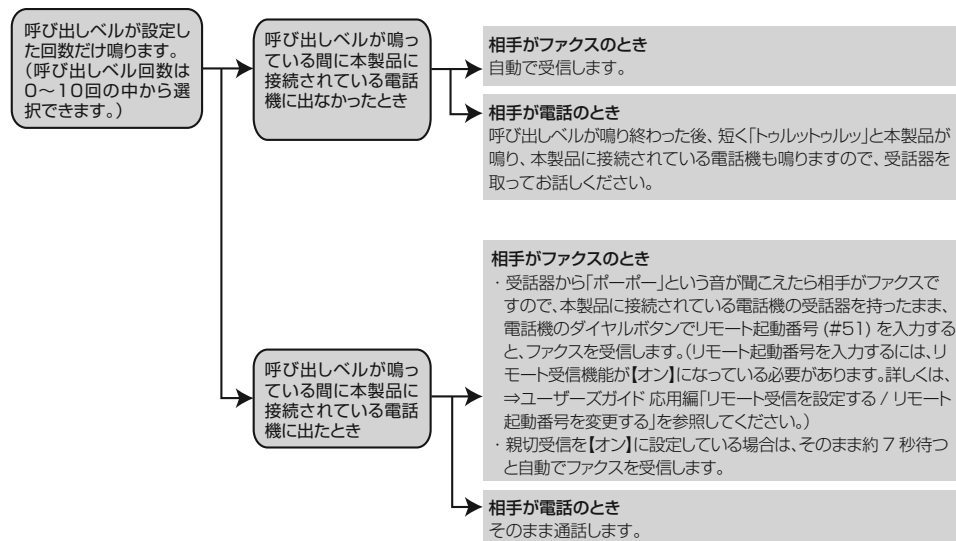
相手が電話のとき
「ピー」という応答音だけを相手に返します。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼び出しベル回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒46ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

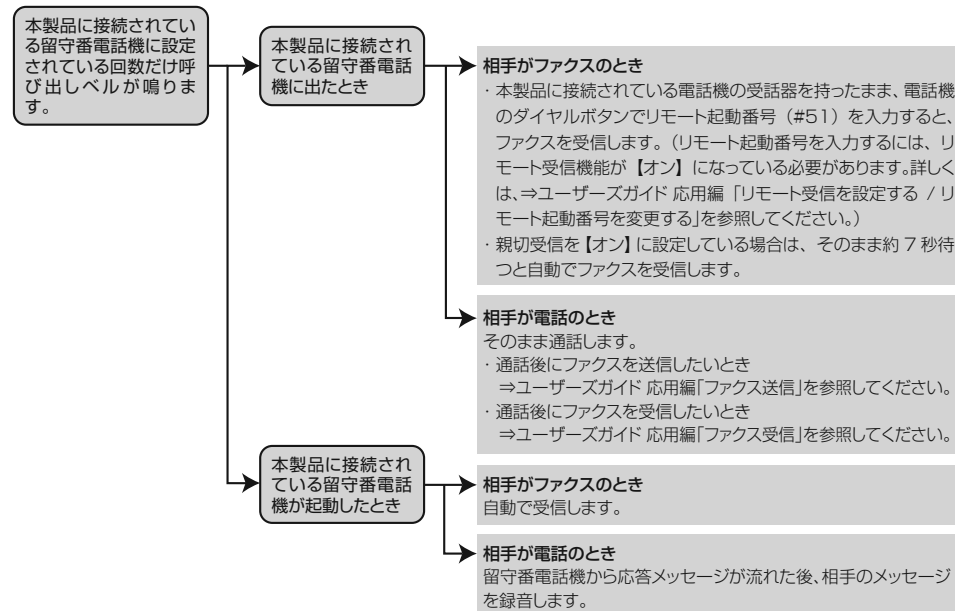


補足

- 呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒46ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒47ページ「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 親切受信を【オン】に設定しているときは、回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは<スタート>⇒<2>を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のことがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>⇒<2>を押してください。
- 呼び出しベル回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話によっては、電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出しベル回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注記

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

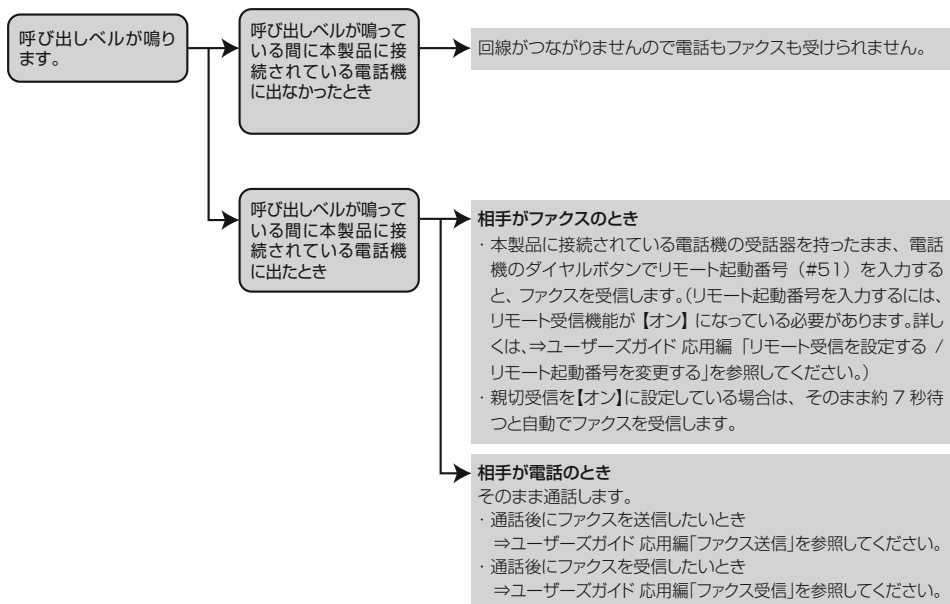
- ・ 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- ・ 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- ・ 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- ・ 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- ・ 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいでも留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信はできません。原稿を取り除いてから <スタート>→<2>を押してください。
ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
 - ・親切受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
 - ・リモート受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
 - ・自動受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のことがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTT とキャッチホンの契約をされている方は、キャッチホンサービスを利用することができます。（局番なしの 116 番にお問い合わせください。）
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 <メニュー>→<2>→<2>→<2>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して受信モードを選択し、<OK>を押す
【FAX=ファクス専用】 / 【F/T=自動切換え】 /
【留守=外付け留守電】 / 【TEL=電話】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

補足

【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】または【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出しベル回数を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>を押して呼出ベル回数を選択し、<OK>を押す
[0] / [1] / [2] / [3] / [4] / [5] / [6] /
[7] / [8] / [9] / [10] から選択します。

3 <停止/終了>を押す

補足

- 呼び出しベル回数は、0 回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出しベル回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼び出しベル回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをおすすめします。
- 受信モードが【FAX=ファクス専用】や【F/T=自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド 応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<3>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して再呼び出しベル回数を選択し、<OK>を押す
【8】 / 【15】 / 【20】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

補足

本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

ファクス無鳴動受信を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】
を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

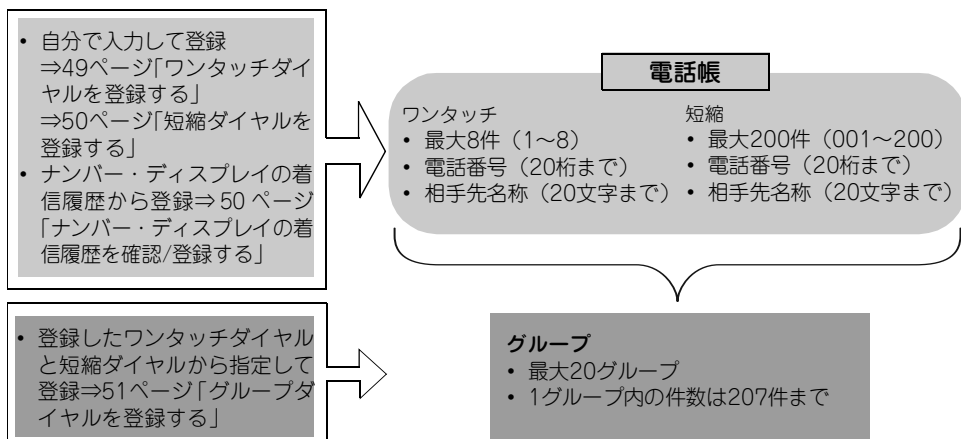
電話帳の基本

電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。
電話帳に相手先の情報を登録するには、以下の図のように<ワンタッチ><短縮>のいずれかに登録する必要があります。

グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。

電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。



電話帳に登録する

注記

- ファクス番号は必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 間違ったファクス番号を誤って登録しないよう注意してください。ファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。
- 登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

補足

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に<*>を押してください。
- 文字入力のかたには⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザ設定から登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- ポーズを入力するには、< 再ダイヤル / ポーズ > を押します。液晶ディスプレイに [p] が表示されます。
- 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストの種類」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされている場合は、登録することができません。

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までのファクス番号と20文字までの相手先の名称を1～8（最大8件）に登録することができます。

1 管理するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

- 5～8に登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。登録内容を変更する場合は⇒52ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー>→<2>→<5>→<1>からも登録することができます。

2 以下の手順で情報を登録する

1 ファクス番号を入力→<OK>

ファクス番号は20桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字：0～9
 - 記号：*、#
 - スペース：<▶>を押す
 - ポーズ：約3秒の待ち時間（液晶ディスプレイには「p」と表示）
- ※カッコは入力できません。

2 名前を入力→<OK>

- 名前は20文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま <OK> を押してください。

3 読みがなを入力→<OK>

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1 <▲>を2回押して、登録する短縮番号（001～200）をダイヤルボタンで入力した後、<1>を押す

- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。
- 登録内容を変更する場合は⇒52ページ「短縮ダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー>→<2>→<5>→<2>からも登録することができます。

2 ⇒49ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2に準じて必要な情報を登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する⇒ユーザーズガイド応用編「レポート・リストを印刷する」

※ 注記

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 <シフト>を押しながら<▼>を押す

2 <▲>または<▼>で電話番号を選択して<OK>を押す

確認の場合は、確認を終えたら手順6へ進んでください。

3 <OK>を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は<1>を、短縮ダイヤルに登録する場合は<2>を押す

5 ⇒49ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2の2から必要な情報を登録する

6 <停止/終了>を押す

● 補足 ●

「外付け電話優先」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信などをするときに使うと便利です。グループダイヤルは、最大20グループ登録することができます。

注記

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

5 以下の手順で情報を登録する

- 1 グループ名を入力→<OK>
グループ名は20文字まで登録できます。
- 2 読みがなを入力→<OK>

6 <停止/終了>を押す

1 <メニュー>→<2>→<5>→<3>を押す

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する

- ワンタッチダイヤルに登録するとき
ワンタッチボタンを押します。
5～8に登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 短縮ダイヤルに登録するとき
<▲>を押して短縮番号(001～200)を入力した後、<OK>を押します。

3 グループ番号(1～20)をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「やり直してください」と表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して、<OK>を押す

1つのグループには、最大207件まで登録できます。

例) ワンタッチボタンの「4」と短縮ダイヤルの「009」をグループダイヤルに登録したい場合

- ワンタッチボタンの「4」→<▲>→<0>→<0>→<9>の順に押します。

電話帳を編集する

電話帳に登録している名前や番号を変更したり、消去できます。
送信待ちのファクスがある宛先(タイマー送信やファクス転送先など)は、送信待ちのファクスをキャンセルするまでは、変更したり消去することはできません。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<5>→<1>
を押す

2 変更するワンタッチボタンを押して、
<1>を押す

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、
<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

3 以下の手順で情報を変更する

- 1 電話番号(20桁まで)を入力→<OK>
カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 2 名前を入力→<OK>
名前は20文字まで登録できます。
- 3 読みがなを入力→<OK>
続けて編集する場合は、手順2～3を繰り返します。

補足

電話番号、名前、または読みがなを変更しない場合は、
そのまま<OK>を押してください。

4 <停止/終了>を押す

短縮ダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<5>→<2>
を押す

2 変更する短縮番号をダイヤルボタン
で入力して、<OK>を押した後、<1>
を押す

補足

短縮ダイヤルを削除するには

登録している短縮ダイヤルを削除するには、<2>→
<1>→<停止/終了>を押してください。

3 ⇒52ページ「ワンタッチダイヤルを
編集する」の手順3に準じて必要な情
報を変更する

4 <停止/終了>を押す

グループダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<5>→<3>
を押す

2 変更するグループが登録されている
ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイ
ヤルを選択する

- ・ワンタッチダイヤルの場合は、ワンタッチボタンを押してください。
- ・短縮ダイヤルの場合は、<▲>を押して短縮番号(001~200)を入力した後、<OK>を押してください。

3 <1>を押す

||補足||

グループダイヤルを削除するには

<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

4 以下の手順でグループダイヤルを編
集する

グループダイヤルに宛先を追加する

追加するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイ
ヤルを入力→<OK>

グループダイヤルから宛先を削除する

<◀>または<▶>(削除するワンタッチダイ
ヤルまたは短縮ダイヤルを選択)→<ク
リア>→<OK>

5 ⇒51ページ「グループダイヤルを登
録する」の手順5に準じて必要な情報
を変更する

変更しないときは、そのまま<OK>を押しま
す。

6 <停止/終了>を押す

コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、液晶ディスプレイに【原稿セットOK】と表示されます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

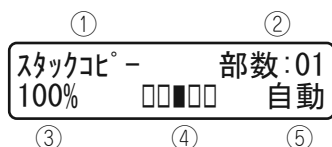
STEP 2 コピーモードに切り替える

操作パネルの<コピー>を押してコピーモードに切り替えます。

コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。



コピーモードに切り替えると、以下のようなコピー標準画面に切り替わります。



①

②

①：設定したコピーモード

②：コピー枚数

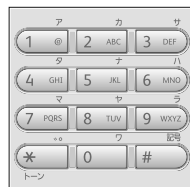
③：倍率

④：コントラスト

⑤：画質

STEP 3 部数を入力する

部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。



STEP 4 コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上がりかたを設定します。

⇒56ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー ⇒57ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

■両面コピー ⇒58ページ「両面コピーをする」

■レイアウトコピー（N in 1コピー）⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」

■2 in 1IDコピー ⇒62ページ「2 in 1 IDコピーをする」

● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大・縮小コピー ⇒57ページ「拡大・縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■画質 ⇒60ページ「画質を設定する」

■明るさ ⇒60ページ「明るさを設定する」

■コントラスト ⇒61ページ「コントラストを設定する」

● コピーで使用する用紙を節約したいとき

■用紙節約 ⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」

STEP 5 スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

<スタート>を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

<スタート>を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき
<停止/終了>を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。

設定には「自分がコピーするときだけ一時的に設定するもの」と「設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするもの」の2種類があります。

分類	機能	一時的な設定 (操作の入り口)	保存する設定 (操作の入り口)	参照
倍率	拡大/縮小	<オプション>→ 【拡大/縮小】	-	⇒57ページ「拡大・縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	<オプション>→ 【スタック/ソート コピー】 → 【ソートコピー】	-	⇒57ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	<両面>	-	⇒58ページ「両面コピーをする」
	レイアウト コピー	<オプション>→ 【レイアウト コピー】 → 【レイアウト】	-	⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー (N in 1 コピー)〕」
	2 in 1 IDコピー	<2in1 (ID)コピー>	<メニュー>→ <3>→<4>	⇒62ページ「2 in 1 IDコピーをする」
質	画質	<オプション>→ 【コピー画質】	<メニュー>→ <3>→<1>	⇒60ページ「画質を設定する」
	明るさ	<オプション>→ 【明るさ】	<メニュー>→ <3>→<2>	⇒60ページ「明るさを設定する」
	コントラスト	<オプション>→ 【コントラスト】	<メニュー>→ <3>→<3>	⇒61ページ「コントラストを設定する」

拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

2 <オプション>を押す

3 <▲>または<▼>を押して【拡大/縮小】を選択し、<OK>を押す

4 倍率を選択し、<OK>を押す

【カスタム（25-400%）】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して<OK>を押してください。

5 <スタート>を押す

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする 〔ソートコピー〕

コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。



ソートコピー

1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

2 <オプション>を押す

3 <▲>または<▼>を押して【スタック/ソートコピー】を選択し、<OK>を押す

4 <▲>または<▼>を押して【ソートコピー】を選択し、<OK>を押す

5 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

補足

原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは⇒87ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

両面コピーをする

片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをお勧めします。

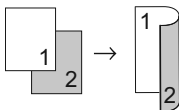
両面印刷ができる用紙は、A4サイズ（60g/m²～105g/m²）のみです。

補足

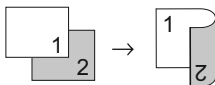
両面原稿を片面2枚や両面1枚にコピーすることはできません。

片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

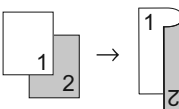


横

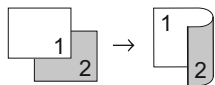


片面→両面 短辺綴じ原稿

縦



横



1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

2 <両面>を押す

3 <▲>または<▼>を押して両面コピーの方法を選択し、<OK>を押す

4 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 【レイアウト コピー (N in 1コピー)】

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

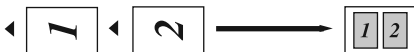
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

〔補足〕

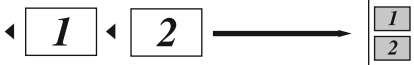
2 in 1 IDコピーの場合は、⇒62ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF (自動原稿送り装置) の場合

【2in1 (縦長)】



【2in1 (横長)】



【4in1 (縦長)】

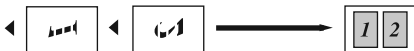


【4in1 (横長)】

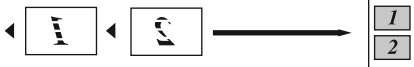


原稿台ガラスの場合

【2in1 (縦長)】



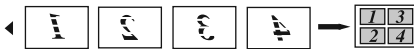
【2in1 (横長)】



【4in1 (縦長)】



【4in1 (横長)】



1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

2 <オプション>を押す

3 <▲>または<▼>を押して
【レイアウト コピー】選択し、<OK>を押す

4 <▲>または<▼>を押してレイアウトを選択し、<OK>を押す

【オフ(1in1)】 / 【2in1(縦長)】 / 【2in1(横長)】 / 【4in1(縦長)】 / 【4in1(横長)】から選択します。

5 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

〔補足〕

- レイアウトコピー (N in 1コピー) では、拡大／縮小機能は使えません。
- 用紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

画質を設定する

【コピー画質】の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- ・【自動】：
自動的に画質を調整します。
- ・【テキスト】：
薄い文字をはっきりと印刷します。
- ・【写真】：
グラデーションをきれいに印刷します。
- ・【レシート】：
レシートの文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押
し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して
【コピー画質】を選択し、<OK>を押す
- 4 <▲>または<▼>を押して画質を選
択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

設定内容を保持する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>で画質を選択して、
<OK>を押す
<OK>を押すと、設定した内容が保存されま
す。
- 3 <停止/終了>を押す

明るさを設定する

明るさを5段階で調整することができます。

一時的に設定する

「明るさ」の設定を変更します。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押
し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【明るさ】
を選択し、<OK>を押す
- 4 <◀>または<▶>を押して明るさを
選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

設定内容を保持する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<2>を押す
- 2 <◀>または<▶>で明るさを選択し
て、<OK>を押す
<◀>を押すと暗くなり、<▶>を押すと明る
くなります。
- 3 <停止/終了>を押す

コントラストを設定する

コントラストを5段階で調整することができます。

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【コントラスト】を選択し、<OK>を押す
- 4 <◀>または<▶>を押してコントラストを選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<3>を押す
- 2 <◀>または<▶>でコントラストを選択して、<OK>を押す
 <OK>を押すと、設定した内容が保存されます。
- 3 <停止/終了>を押す

2 in 1 IDコピーをする

IDカードや身分証明書などカードサイズの表裏を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

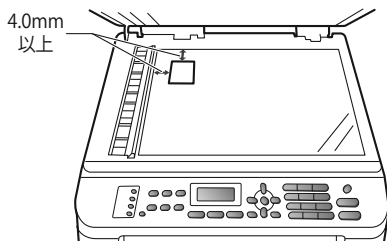


IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには、十分注意してください。

1 <コピー>を押す

2 原稿台ガラスの左側に、裏向きにしてコピーするカードをおく

イラストのように、原稿台ガラスの左側に、端から4.0mm以上空けてカードをセットしてください。



3 <2in1 (ID) コピー>を押す

4 ダイヤルボタンを押して部数を入力する

5 <スタート>を押す

6 <▲>または<▼>を押して【はい】を選択し、<OK>を押す

液晶ディスプレイに【ID カードを裏返してください】[OK]を押してくださいと表示されます。

7 原稿台ガラスのカードを裏返して<OK>を押す

設定内容を保存する

2in1IDコピーをするときの、【コピー画質】、【明るさ】、【コントラスト】、【2in1/1in1】の項目を設定できます。

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー>→<3>→<4>を押す

2 <▲>または<▼>を押して変更する項目を選択し、<OK>を押す

3 <▲>または<▼>を押して設定を選択し、<OK>を押す

手順2、3を繰り返して、変更する項目をすべて設定する

4 <停止/終了>を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピュータからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属のCD-ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールします。(Windows®のみ)※

※ Macintoshのプリンタードライバーは、弊社公式サイト
(<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/download/index.html>)から、ダウンロードしてください。

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 2 コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 3 プリンターを選択する

〔印刷〕ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択します。

STEP 4 印刷内容を設定する

〔印刷設定〕ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し、〔OK〕をクリックします。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 5 プリントを開始する

〔印刷〕をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の2つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP 2から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属のCD-ROMの中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は、本製品にTCP/IPを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 2 スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特徴によって、スキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて、最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 3 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 4 スキャンモードに切り替える

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5 スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

- ・ OCR
- ・ ファイル
- ・ イメージ
- ・ Eメール添付
- ・ FTPサーバー
- ・ Webサービス※

※ Windows Vista® SP2以降、Windows® 7またはWindows® 8のみ

STEP 6 保存先／送信先を選択する

- ・ スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。USB接続の場合は保存先の選択は必要ありません。

- ・ 必要に応じて、画質やファイル名などを設定します。

STEP 7 スキャンを開始する

<スタート>を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

STEP 4 アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5 スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで、解像度や明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6 スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

定期メンテナンス

以下の部品を定期的に清掃することをおすすめします。

- 標準トレイ
- 原稿台ガラス
- ドラムカートリッジ
- コロナワイヤー
- 給紙ローラー

⚠ 警告

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

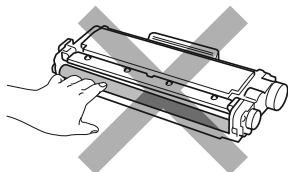
⚠ 注意

機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となる恐れがあります。

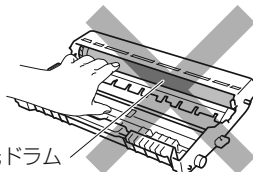
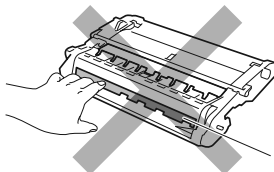
！ 重要

- 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。
- アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
- 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

＜トナーカートリッジ＞



＜ドラムカートリッジ＞



- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- ドラムカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

補足

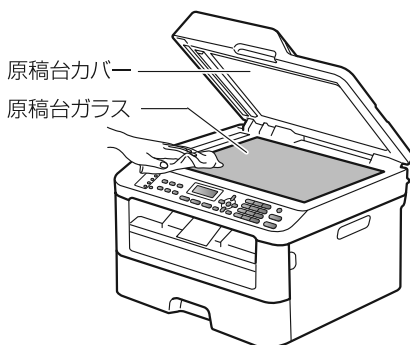
清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 本製品の電源を長押ししてオフにする

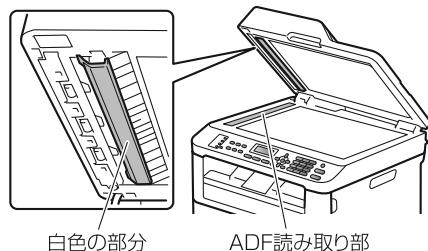
2 原稿台カバーを開ける

3 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

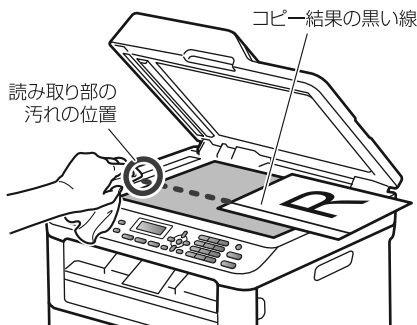


2 原稿台カバー（白色の部分）とADF読み取り部を拭く



注記

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたかを確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

5 本製品の電源を押してオンにする

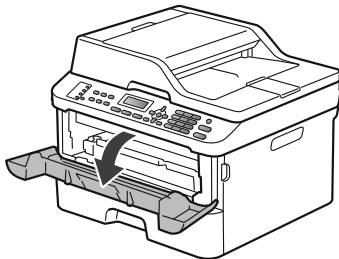
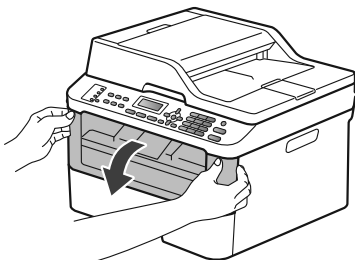
コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

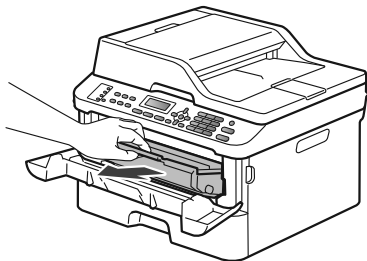
1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は  を押してオンにします。

2 フロントカバーを開ける



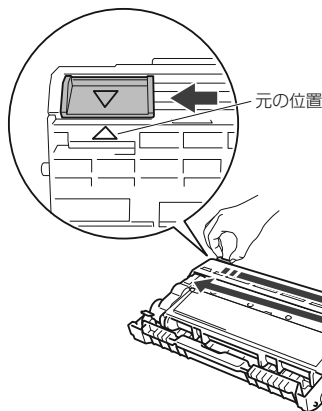
3 ドラムカートリッジを取り出す



4 清掃する

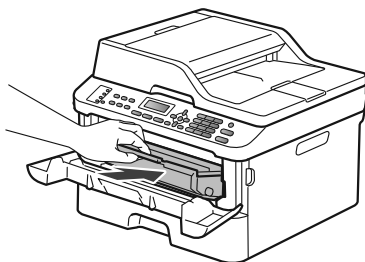
1 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムカートリッジ内部のコロナワイヤーを清掃する

2 緑色のつまみを元の位置(▲)に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。



5 元の状態に戻す

1 ドラムカートリッジを戻す



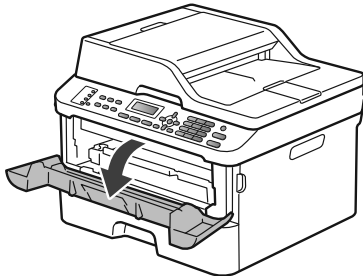
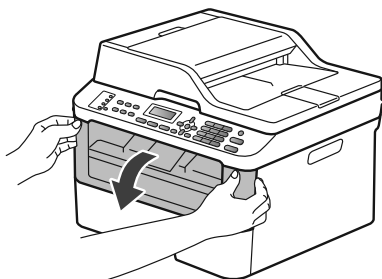
2 フロントカバーを閉じる

ドラムカートリッジの清掃

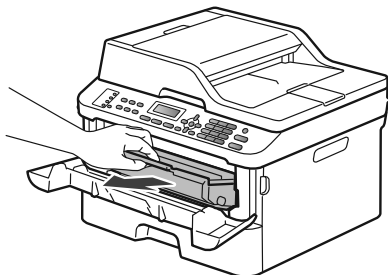
印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムカートリッジの清掃が必要です。

1 本製品の  を長押ししてオフにする

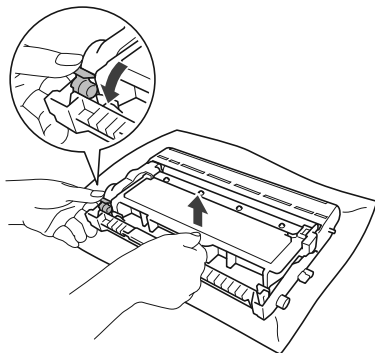
2 フロントカバーを開ける



3 ドラムカートリッジを取り出す

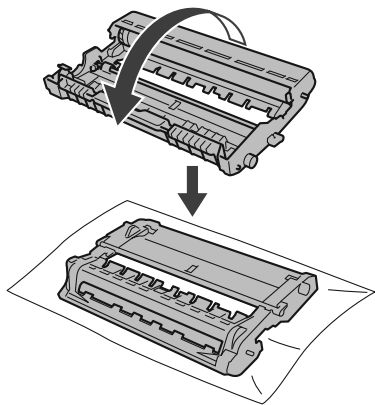


4 緑色のロックレバーを押し、ドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外す



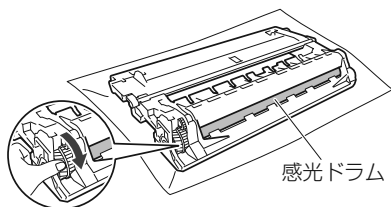
5 清掃する

1 ドラムカートリッジを裏返す

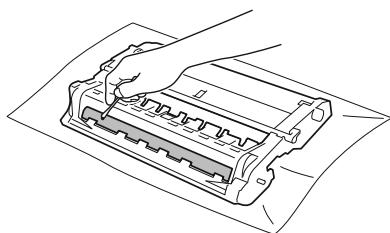


2 感光ドラムの汚れの場所を特定する

ドラムカートリッジの端を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にします。



3 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る



注記

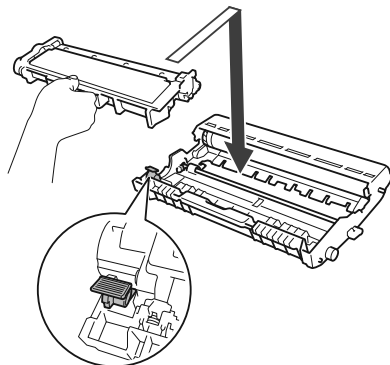
■感光ドラムの表面を尖ったものでふかないでください。

■電動器具は使用しないでください。

6 ドラムカートリッジを裏返す

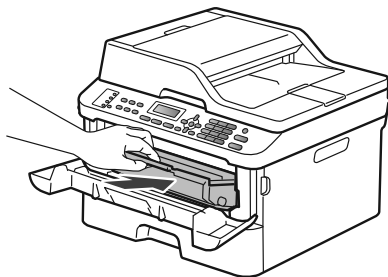
7 トナーカートリッジがロックされるようにドラムカートリッジに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



8 元の状態に戻す

1 ドラムカートリッジを戻す



2 フロントカバーを閉じる

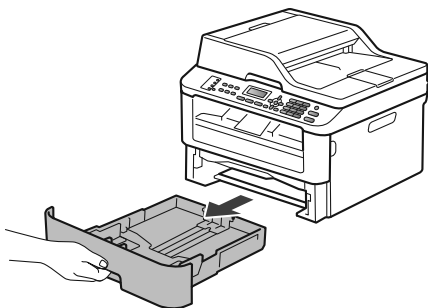
9 本製品の を押してオンにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、用紙を正常に給紙しないことがあります。その場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 本製品の  を長押ししてオフにする

2 標準トレイを完全に引き出す

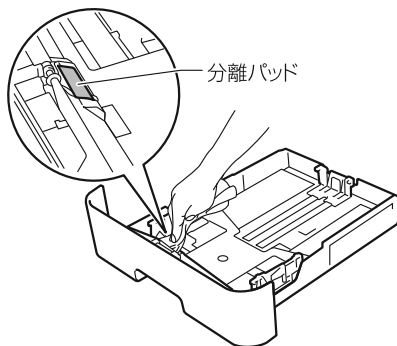


3 標準トレイから用紙を取り出す

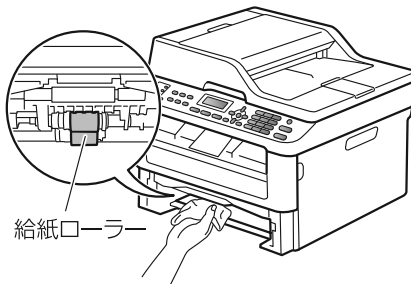
標準トレイ内につまった用紙がある場合は取り除いてください。

4 清掃する

1 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、標準トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

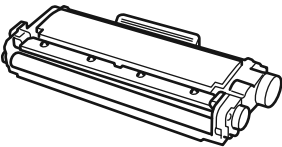
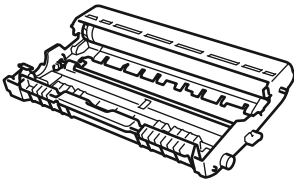


5 用紙をセットして、標準トレイを本製品に戻す

6 本製品の  を押してオンにする

消耗品の交換

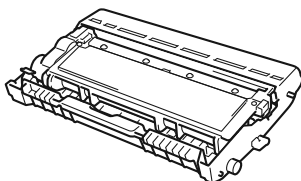
消耗品

トナーカートリッジ PR-L5140-11	ドラムカートリッジ PR-L5140-31
	
⇒77ページ	⇒80ページ

トナーカートリッジとドラムカートリッジについて

注記

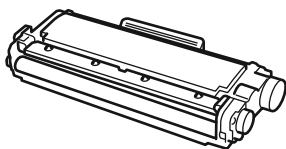
本製品では、画像を作成するドラムカートリッジにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムカートリッジが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムカートリッジにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ

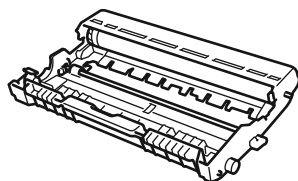
型番、印刷可能枚数については以下の表を参照してください。



印刷するための粉末（トナー）が入っています。

ドラムカートリッジ

型番：PR-L5140-31



トナーを用紙に写すカートリッジです。

	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	—	約1,200枚
標準トナーカートリッジ	PR-L5140-11	約2,600枚

印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。

（JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

交換のしかたについては、⇒77ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒80ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムカートリッジを注文する時期

消耗品の交換時期が近づくと、液晶ディスプレイに警告が表示されますので、交換する消耗品を準備してください。印刷できない期間が発生しないよう、このメッセージが最初に表示されたときに消耗品を注文するようにしてください。消耗品の交換が必要になると液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換に関するエラーメッセージの詳細については、⇒77ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒80ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。消耗品のご注文は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注 記

本機は、NEC の純正消耗品をご使用いただくことにより、印刷品質や本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。NEC の純正消耗品以外の消耗品（再生品等）を使用した場合、印刷品質低下等の不具合やプリンター本体の故障が発生する場合があります。純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で不具合や故障が発生した場合、無償保証期間内や保守契約内であっても有償修理となります。

トナーカートリッジとドラムカートリッジ交換時の注意

⚠ 警告

- 床などにごぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発する恐れがあります。大量にごぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジやドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷の恐れがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

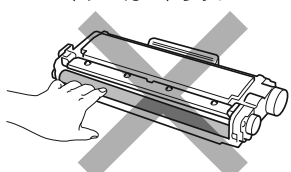
⚠ 注意

- ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・ トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・ トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・ トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

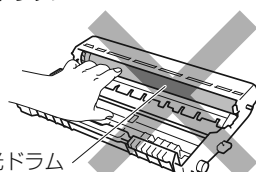
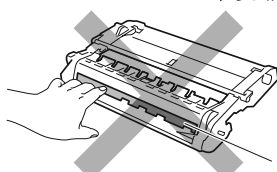
！ 重要

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合がありますので、取り扱いには注意してください。
- 使用済みのドラムカートリッジを交換する場合は、トナーの粉が残っていることがあるので、取り扱いには注意してください。
- ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 開封したドラムカートリッジが直射日光や過度の室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整された NEC 純正品をご使用ください。→ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムカートリッジについて」を参照してください。
- ドラムカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整された NEC 純正品をご使用ください。→ 73 ページ「トナーカートリッジとドラムカートリッジについて」を参照してください。
- 最良の性能を発揮させるために、NEC純正のドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- 新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムカートリッジに取り付けてください。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

<トナーカートリッジ>



<ドラムカートリッジ>



感光ドラム

注記

- トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。弊社または販売店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。
- ドラムカートリッジは本製品に取り付ける直前に開封してください。
- 使用済みのドラムカートリッジを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムカートリッジからこぼれないようにしてください。弊社または販売店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

※新品のトナーカートリッジ、またはドラムカートリッジが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

補足

- 最良の性能を発揮させるために、NEC純正ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も清掃することをおすすめします。
詳しくは⇒66ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに以下のメッセージを表示して、お知らせします。

まもなくトナー交換

補足

- 液晶ディスプレイに【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【トナー交換】と表示される前に準備しておいてください。
- 印刷結果がかすめる場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。トナーカートリッジの交換方法は、⇒ 78 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

トナー交換

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

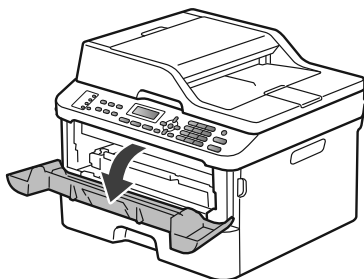
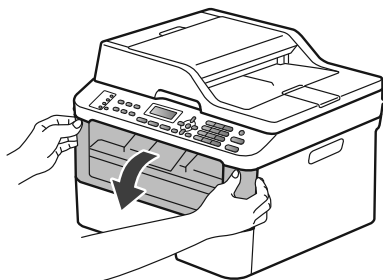
トナーカートリッジを交換する

1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

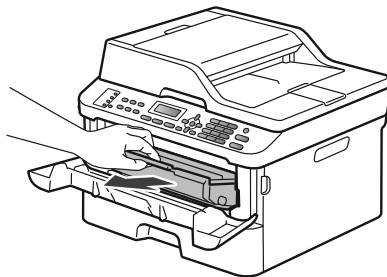
電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

2 トナーカートリッジを取り出す

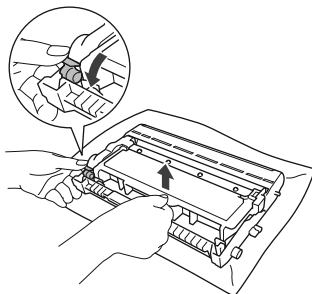
1 フロントカバーを開ける



2 ドラムカートリッジを取り出す



3 緑色のロックレバーを押し、ドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外す



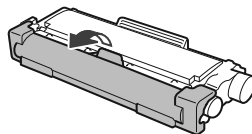
3 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封する

注記

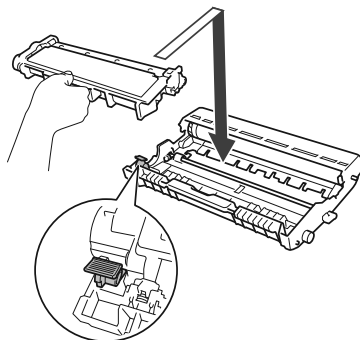
トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

2 保護カバーを取り除く

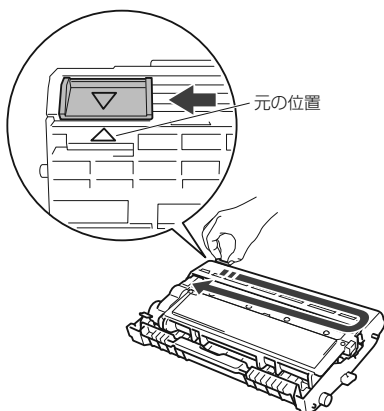


3 トナーカートリッジがロックされるようにドラムカートリッジに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



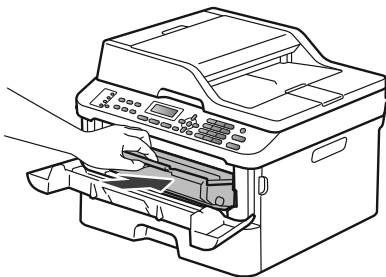
- 4 緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させ、ドラムカートリッジ内部のコロナワイヤーを清掃する



- 5 緑色のつまみを元の位置 (▲) に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

4 元の状態に戻す

- 1 ドラムカートリッジを戻す



- 2 フロントカバーを閉じる

注記

液晶ディスプレイに【お待ちください】と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源をオフにしたり、フロントカバーを開けたりすると、新しいトナーを検知できない場合があります。

トナーを連続して使用する(連続印刷設定)

●初期設定 (ストップモード)

トナーが寿命になると液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示されて印刷が止まります。一度このメッセージが表示されるとトナーカートリッジを交換しない限り印刷ができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

●連続印刷設定

連続印刷設定をすると、【トナー交換】と表示されても、そのまま印刷し続けることができます。

- 1 <メニュー>→<1>→<9>を押す

- 2 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

- 3 <停止/終了>を押す

補足

- 連続印刷設定は、印刷が薄くなることがあります。
- 連続印刷設定は、印刷保証できません。
- トナーカートリッジを交換すると、初期設定に戻ります。

ドラムカートリッジの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムカートリッジの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムカートリッジの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。

補足

- ドラムカートリッジの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムカートリッジの交換周期は約 12,000 枚です。実際のドラムカートリッジの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこれよりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ドラムカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も清掃することをおすすめします。
⇒66ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

ドラムカートリッジエラーのメッセージ

【ドラム お手入れ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒68ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラム お手入れ】の表示が消えない場合は、新しいドラムカートリッジを購入し、交換してください。
⇒81ページ「ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。

ドラム お手入れ

まもなくドラムカートリッジ交換のメッセージ

【まもなくドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください。

まもなくドラム交換

補足

しばらくの間はドラムカートリッジを交換せずに継続して印刷することもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいドラムカートリッジを購入し、交換することをおすすめします。

ドラムカートリッジ交換のメッセージ

【ドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムカートリッジの交換が必要です。

ドラム交換

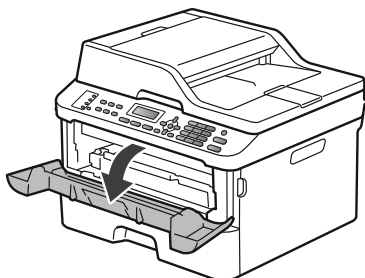
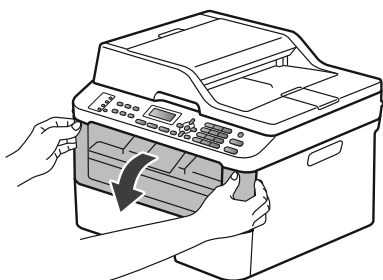
ドラムカートリッジを交換する

新しいドラムカートリッジに交換した場合は、ドラムカートリッジのカウンターをリセットする必要があります。

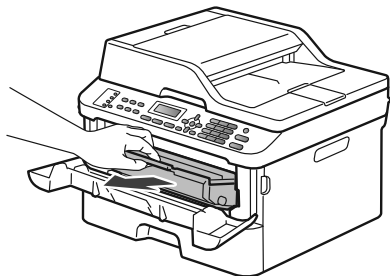
1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は、を押してオンにします。

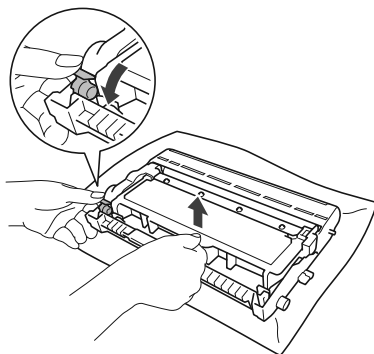
2 フロントカバーを開ける



3 ドラムカートリッジを取り出す



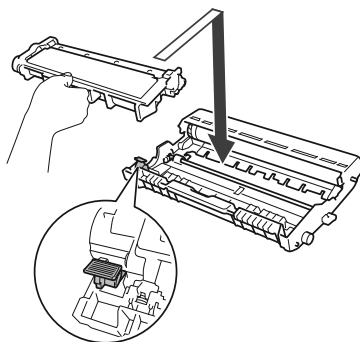
4 緑色のロックレバーを押し、ドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外す



5 交換する

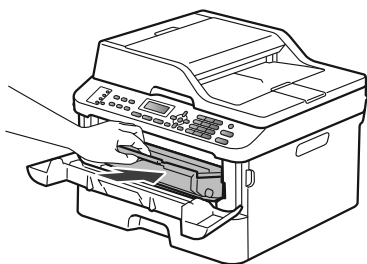
- 1 新しいドラムカートリッジを開封する
- 2 トナーカートリッジを新しいドラムカートリッジに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



6 元の状態に戻す

1 ドラムカートリッジを戻す



2 フロントカバーを閉じる

ドラムカートリッジのカウンターリセット

ドラムカートリッジを交換したときは、以下の手順に従ってドラムカートリッジのカウンターをリセットしてください。

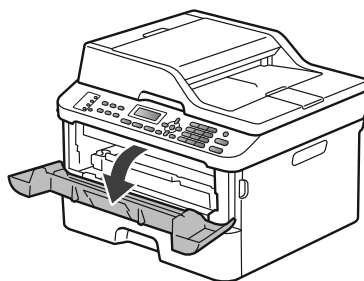
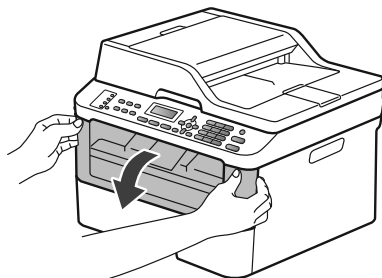
1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は、を押してオンにします。

2 本製品が待機状態であることを確認する

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されているときは、＜停止/終了＞を押して待機状態にしてください。

3 フロントカバーを開ける



4 <OK>を長押しして【ドラム交換しましたか？】と表示されたら<1>を押す

5 フロントカバーを閉じる

注記

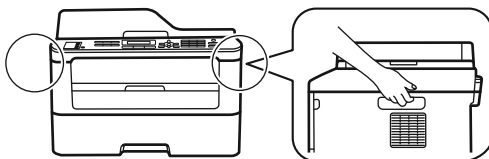
トナーカートリッジのみを交換した場合は、ドラムカートリッジのカウンターをリセットしないでください。

本製品を再梱包するときは

本製品を引越しなどで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

！ 重要

- 再梱包を行う場合は、前もって電源をオフにし、本製品内部を十分に冷ましてください。
- 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用して、お買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。
- 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。
- 本製品を移動するときは、側面の持ち手を持ってください。本製品の底面を持って運ばないでください。

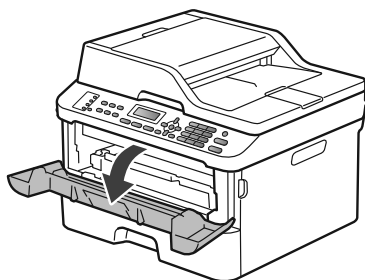
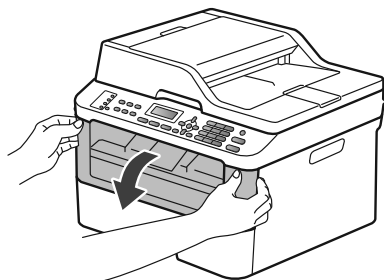


- 1 本製品の ⏻ を長押ししてオフにし、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

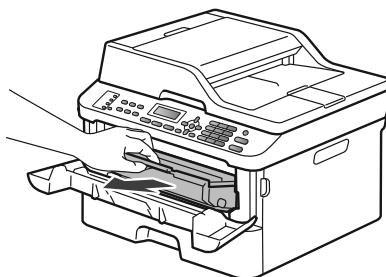
- 2 コード、ケーブルを取り外す

- 1 すべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜く

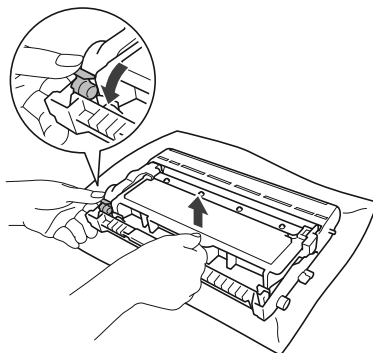
- 3 フロントカバーを開ける



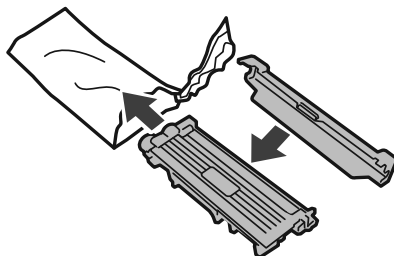
- 4 トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外す



- 5 緑色のロックレバーを押し、ドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外す

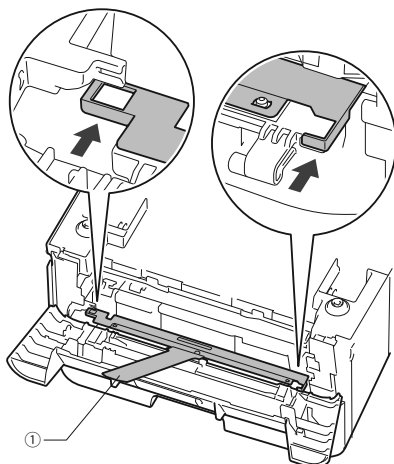


- 6 トナーカートリッジに保護カバーを取り付け、プラスチックバッグに収納する

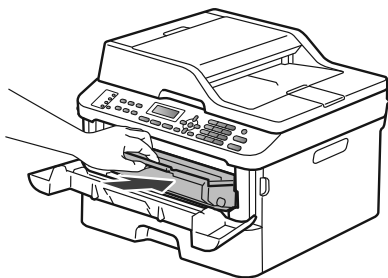


7 保護部材①を取り付ける

イラストのように保護部材の両端を本製品に取り付けてください。



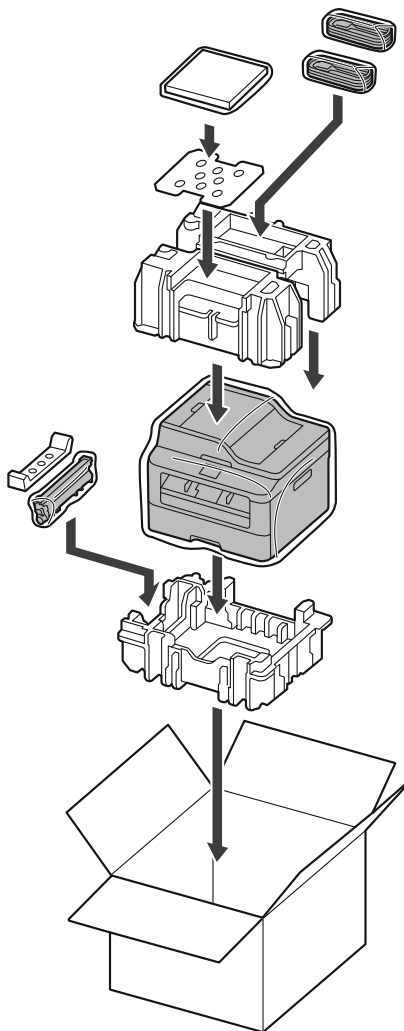
8 ドラムカートリッジだけ本製品に戻す



9 フロントカバーを閉じる

10 本製品や付属品を梱包する

- 1 本製品をビニール袋に入れる
- 2 本製品をセットする
発砲スチロールの「FRONT」の印と本製品の前面を合わせてセットしてください。
- 3 セットした本製品をイラストのように箱へ入れる



4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていますか

表示されている

- ① 画面に従って処置をしてください
- ② 以下の項目を確認してください
⇒87ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」
⇒92ページ「紙が詰まった!」

表示されていない

- ・以下の項目を確認してください
⇒103ページ「原因がよくわからない!」

どうしても解決しない!

本製品が正常に動作しない
または
どこに問題があるかわからない

以下の2点をメモしてください
・製品名
・シリアル番号
⇒ユーザーズガイド 応用編
「必要なときに確認してほしいこと」-「製品情報の確認/印刷」

お買い求めの販売店、または
サービス窓口にご連絡ください

コピー、プリント、
スキャンは正常に
動作する

回線種別は正しく
設定されている
⇒21ページ「自動
で回線種別を設定
する」
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体に
かわかる設定」-「電話回線設定」

電話やファクス回線
に問題がある可能性
があります。
ご利用の電話会社、
またはプロバイダー
にご相談ください

コピー、ファクスは
正常に動作する

プリンタードライ
バーは正しくインス
トールされている

コンピューターに問
題がある可能性があ
ります。
コンピューターの
メーカーまたは購入
された販売店にご相
談ください

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、以下の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡してください。

画面表示

解決方法

印刷できません

本製品の  を長押ししてオフにします。数秒後に  を押し、もう一度オンにしてください。

メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

フロントカバーを完全に閉じてください。

それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスデータを別のファクシミリに転送した後、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください

ファクスデータの転送方法は、⇒91 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。

カバーが開いています

定着ユニットカバーを完全に閉じてください

バックカバー（背面排紙トレイ）を開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを閉めてください。

フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください

紙詰まり 後ろ

本製品の背面でつまっている用紙を取り除いてください

⇒97 ページ「背面に用紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり トレイ

標準トレイでつまっている用紙を取り除いてください

⇒95 ページ「標準トレイに用紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり 内部

本製品の内部でつまっている用紙を取り除いてください

⇒99 ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり 両面

標準トレイの裏側につまっている用紙を取り除いてください

⇒101 ページ「両面印刷時に用紙がつまったとき」を参照してください。

画面表示	解決方法
用紙サイズ間違い	両面印刷可能な正しい用紙（記録紙）サイズ（A4）をセットしてください ＜停止 / 終了＞を押します。両面印刷できない用紙（記録紙）がセットされている可能性があります。確認して正しい用紙（記録紙）をセットしてください。 両面印刷可能な用紙（記録紙）をプリンタードライバーで設定してください。両面印刷できる用紙（記録紙）サイズの詳細は、⇒146 ページ「自動原稿送り装置」を参照してください。
サイズ エラー 両面	
用紙を送れません	用紙（記録紙）を補給するか、用紙（記録紙）を正しくセットしてください それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒71 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 手差しスロットの用紙を正しくセットしてください
原稿詰まり ADF	ADF（自動原稿送り装置）につまっている原稿を取り除いてください 原稿を取り除いたら、＜停止 / 終了＞を押してください。 読み込む原稿を短くして、読み込ませてください ＜停止 / 終了＞を押して、原稿をセットし直してください。
スキャンできません	本製品の  を長押ししてオフにして、数秒後に  を押してもう一度電源をオンにしてください メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
正しく読み取れません	原稿を抜き取り、電源を入れ直してから再送信してください
手差し印刷	用紙を手差しスロットにセットしてください
トナーが確認できません	ドラムカートリッジを取り出し、ドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外してください 再度トナーカートリッジをドラムカートリッジに戻し、ドラムカートリッジを本製品に戻してください
トナーがセットされていません	トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください ⇒78ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

画面表示

解決方法

トナー交換

トナーカートリッジを交換してください

ファクスを印刷中、液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示された場合は、ファクスデータはメモリーに保存されます。
⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。

トナー停止

新しいトナーに交換してください

⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。

ドラム お手入れ

コロナワイヤー（ドラムカートリッジ）を清掃してください

⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

トナーカートリッジがドラムカートリッジに装着されているかを確認してください

⇒ 78 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

ドラム交換

ドラムカートリッジの交換時期です

印刷品質が目立って低下したら、ドラムカートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジのカウンターをリセットしてください

⇒ 81 ページ「ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。

ヒーター確認中

本製品の を長押ししてオフにして、数秒後に を押して電源をオンにして、そのまま 15 分お待ちください

メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。

まもなくトナー交換

トナーカートリッジを購入し、液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示される前に準備しておいてください

液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示されるまでトナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。

まもなくドラム交換

新しいドラムカートリッジを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください

印刷品質が目立って低下したら、ドラムカートリッジを交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

画面表示

メモリがいっぱいです

＜停止 / 終了＞を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください

ファクス送信・コピー実行中のとき

＜停止 / 終了＞を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、＜スタート＞を押して読み込まれた分だけを送信、またはコピーしてください。

印刷中のとき

解像度を下げてからもう一度試してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
または、保存されているデータを消去して、メモリーの空き容量を確保してください。

用紙サイズが合いません

正しい用紙をセットしてください

用紙サイズ設定で設定した用紙と、トレイにセットしている用紙が違う可能性があります。確認して正しい用紙をセットしてください。

用紙サイズが違います

両面印刷できません

バックカバー（背面排紙トレイ）を完全に閉じてください

両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）を選択してください

＜停止 / 終了＞を押し、プリンタードライバーで設定を確認してください。
設定した用紙サイズの用紙をトレイに入れてください。

冷却中
しばらくお待ちください

ファンの音を聞き、回転しているかどうかを確認してください

ファンが回転している場合は、換気口が塞がれていないかを確認してください。換気口の前に障害物があるときは取り除き、電源をオンにしたまま約 10 分お待ちください。
ファンが回転していない場合は、本製品の  を長押ししてオフにして、数分後に電源を入れ直してください。メモリーに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。

それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスデータを別のファクスシミリに転送した後、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください

ファクスデータの転送方法は、⇒ 91 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機がパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

1 <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

2 <メニュー>→<9>→<0>→<1>を押す
ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順3に進んでください。

3 転送先のファクス番号を入力し、<スタート>を押す

〔補足〕

発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

1 <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

2 <メニュー>→<2>→<7>→<2>を押す

3 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

4 メッセージを確認して、<OK>を押す
・パソコンのPC-FAX 受信を起動させてください。起動方法について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

5 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ

USB接続しているパソコンを選ぶ場合は、【<USB>】を選んで<OK>を押します。
・メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPC に転送しますか?/はい/いいえ】と表示されます。

6 <1>を押す

7 <▼>を押して【しない】を選択する

8 <停止/終了>を押す

〔補足〕

この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【転送/メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ/ファクス転送/電話呼び出し/メモリ受信）に戻してください。詳しくは、⇒134ページ「1.転送/メモリ受信」を参照してください。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

1 <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

2 <メニュー>→<9>→<0>→<2>を押す

3 転送先のファクス番号を入力し、<スタート>を押す

〔補足〕

発信元登録がされていないと転送ができません。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき ⇒93ページ「原稿がつまったとき」を 参照してください。	原稿詰まり ADF
用紙がつまったとき ⇒95ページ「用紙（記録紙）がつまっ たとき」を参照してください。	紙詰まり XXXX

【XXXX】は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

⚠ 警告

トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

！ 重要

使用できない用紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒ 24 ページ「使用できない用紙」を参照してください。

原稿が詰まったとき

液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まっています。

原稿詰まり ADF

ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿が詰まったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

3 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないかを確認してください。

4 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

5 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿が詰まったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

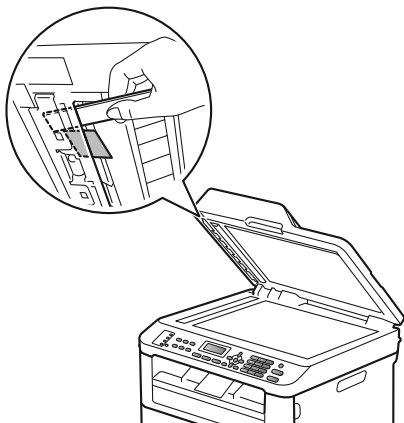
つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないかを確認してください。

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

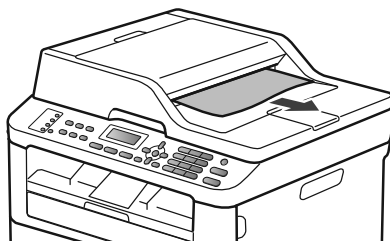
- 1 原稿台カバーを開ける
- 2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く



- 3 原稿台カバーを閉じる
- 4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

- 1 送り込まれていない原稿を取る
- 2 つまった原稿を取り除く
両手でゆっくり引き出してください。



- 3 <停止/終了>を押す

用紙(記録紙)が詰まったとき

標準トレイに用紙が詰まったとき

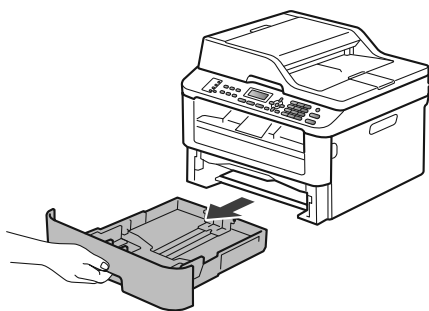
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、標準トレイに用紙が詰まっています。

紙詰まり トレイ

1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

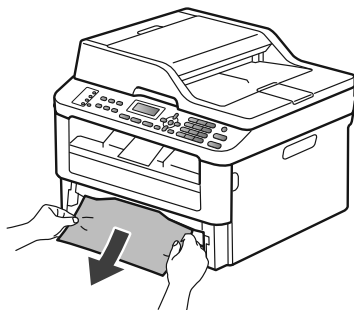
電源がオフの場合は  を押してオンにします。

2 本製品から標準トレイを完全に引き出す



3 つまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

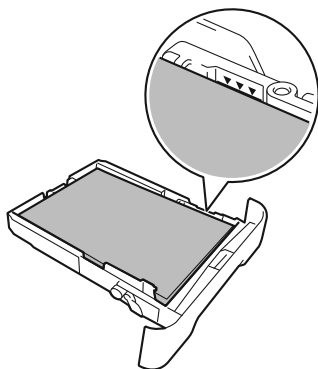


補足

- つまった用紙を下向きに引くと、かんたんに取り除くことができます。
- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないかを確認してください。詳しくは、⇒99ページ「本製品の内部に用紙が詰まったとき」を参照してください。

4 用紙が標準トレイの適切な位置にセットされているかを確認する

- 用紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。



- 緑色の用紙ガイドをつまみながら用紙ガイドをスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。
- 用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

5 標準トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているかを確認してください。

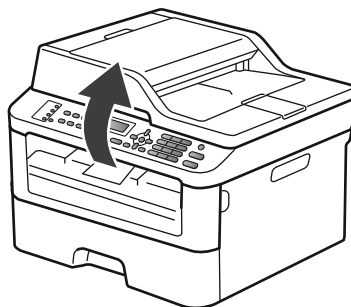
排紙トレイに用紙が詰まったとき

排紙トレイに用紙が詰まったときは、以下の手順で詰まった用紙をとってください。

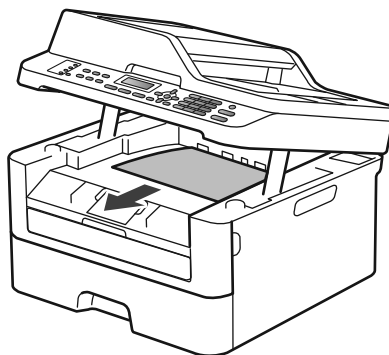
1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は  を押してオンにします。

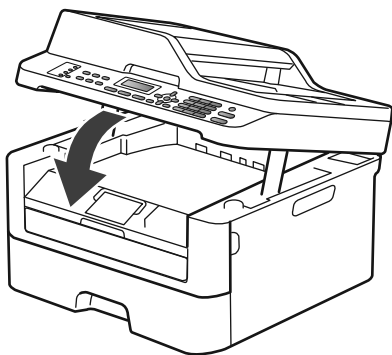
2 両手でスキャナーカバーを開ける



3 詰まった用紙を取り除く



4 両手でスキャナーカバーを押し下げて閉じる



背面に用紙がつまったとき

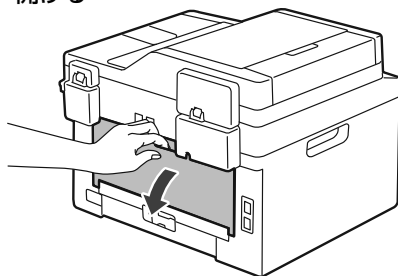
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、バックカバー（背面排紙トレイ）内に用紙がつまっています。

紙詰まり 後ろ

1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

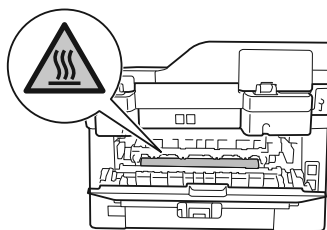
2 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



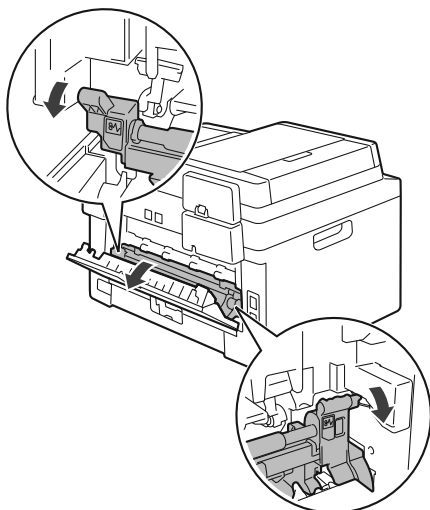
⚠ 警告

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となる恐れがあります。

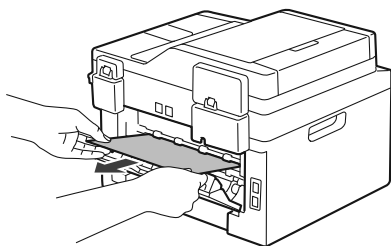


3 左右の青色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開ける



4 定着ユニットからつまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



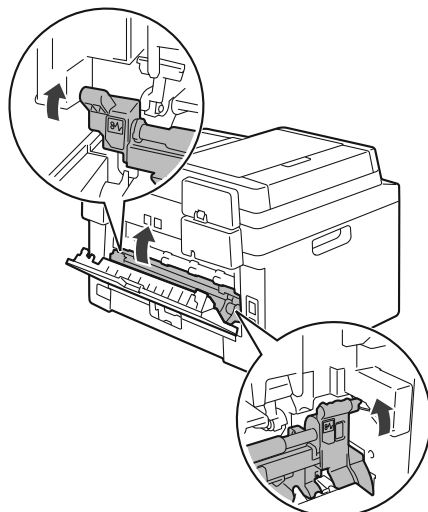
補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないかを確認してください。詳しくは、⇒99ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

5 元の状態に戻す

1 定着ユニットカバーを閉じる

- 左右の青色のつまみが上がり固定されたことを確認してください。



2 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

本製品の内部に用紙がつまったとき

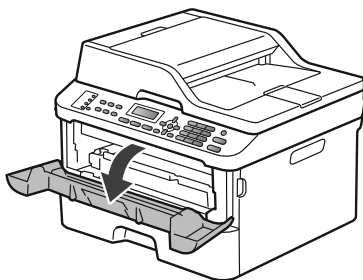
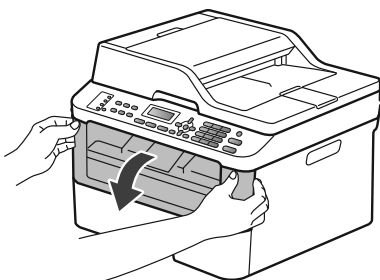
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、本製品の内部に用紙がつまっています。

紙詰まり 内部

1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

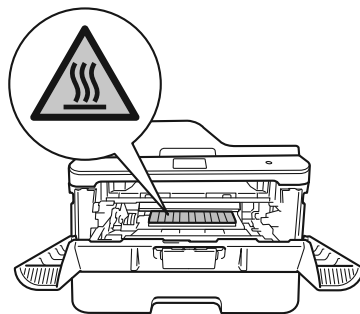
2 フロントカバーを開ける



⚠ 警告

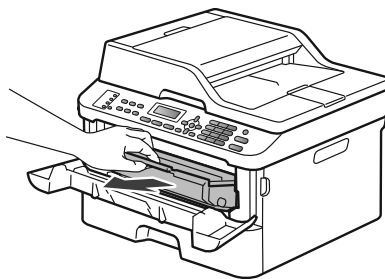
機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となる恐れがあります。



3 ドラムカートリッジを取り出す

ドラムカートリッジを取り出すことで、つまった用紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった用紙を取り除くことができます。

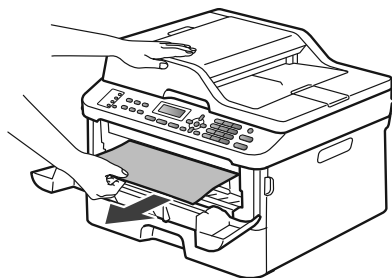


！ 重要

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムカートリッジとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

4 つまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

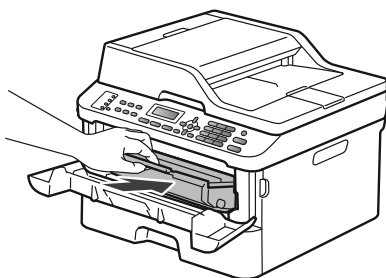


補足

ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。

5 元の状態に戻す

1 ドラムカートリッジを戻す



2 フロントカバーを閉じる

補足

- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- 本製品の内部に用紙がつまっているときに本製品の電源をオフにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷することがあります。本製品の電源をオンにする前に、コンピューターの印刷実行ジョブを削除してください。

両面印刷時に用紙がつまったとき

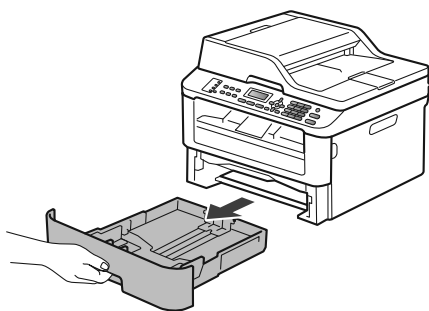
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、両面トレイに原稿がつまっています。

紙詰まり 両面

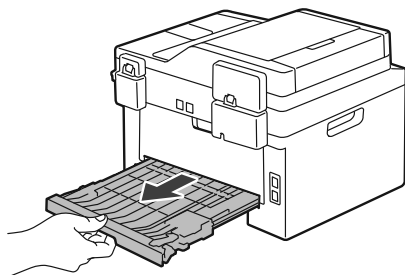
1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

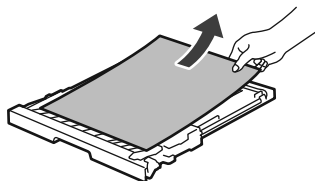
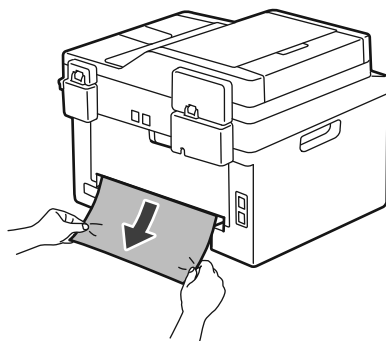
2 本製品から標準トレイを完全に引き出す



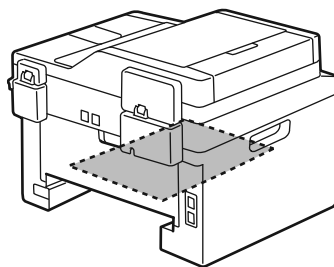
3 本製品の背面から両面トレイを完全に引き出す



4 本製品の内部または両面トレイにつまった用紙を取り除く



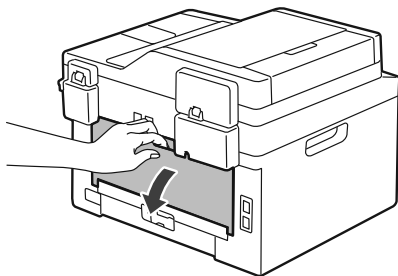
5 本製品の底面につまった用紙がないかを確認する



6 標準トレイと両面トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているかを確認してください

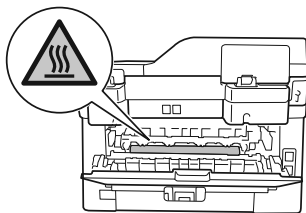
7 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



⚠ 警告

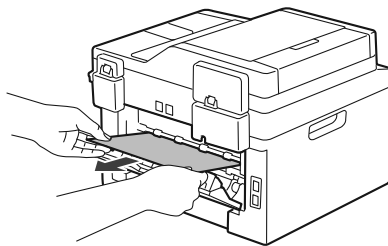
機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となる恐れがあります。



8 つまった用紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品の内部に用紙が残っていないかを確認してください。詳しくは、⇒99ページ「本製品の内部に用紙がつまったとき」を参照してください。

9 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）をしっかりと閉じる

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

ここを確かめてください

電源コードは差さっていますか

本製品の電源はオンになっていますか

トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか

給紙ローラーが汚れていませんか

液晶ディスプレイに【用紙を送れません】と表示されていませんか

標準トレイに用紙を多くセットしていませんか

原稿が正しく送り込まれていますか
(ADF（自動原稿送り装置）使用時)

対処方法

電源コード（壁側）を確実に差し込んでください。

本製品の  を押してオンにしてください。
 < 電源がオンにならない場合 >
 （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。
 本製品の  を長押ししてオフにして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、 を押してオンにしてください。

トナーカートリッジとドラムカートリッジを正しく取り付けてください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

⇒ 71 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

用紙（記録紙）がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、用紙（記録紙）が丸まっていなかったり、用紙（記録紙）が折れ曲がっていないかを確認してください。

用紙を少し減らしてセットしてください。

- 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
- ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
- 原稿が薄すぎたり厚すぎたりしている場合や、原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。
⇒ 35 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。
- 原稿のサイズを確認してください。
- 原稿挿入口に破れた原稿などがつままっている場合があります。ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
⇒ 93 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 - 手差しスロットから印刷したい場合は、プリンタードライバーの「給紙方法」が「手差し」になっていることを確認してください。 - 標準トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの「給紙方法」が「自動選択」または「トレイ1」になっていることを確認してください。
封筒を給紙しない	手差しスロットから封筒の給紙ができます。使用しているアプリケーションが印刷する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文書設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。
標準トレイに用紙を正しくセットしていますか	⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。
手差しスロットに用紙を正しくセットしていますか	用紙は一枚ずつセットしてください。 両手で手差しスロットの奥までしっかりと用紙を差し込んでください。 ⇒ 28 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。
用紙がつまっていないかを確認してください	⇒ 92 ページ「紙がつまった！」を参照してください。 フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。
バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の緑色レバーの位置はありますか	バックカバー内部の左右両側の緑色レバーの位置を確認してください。⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」、⇒ 28 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが「両面印刷」に設定されているかを確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定されているかを確認してください。
バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているかを確認してください。

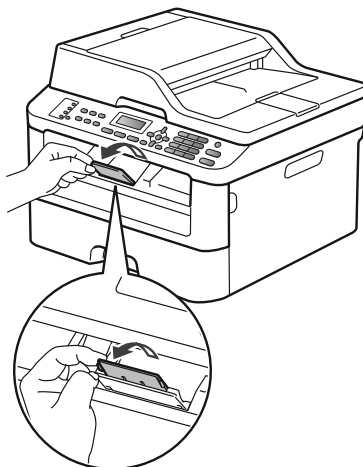
排紙トレイから用紙が落ちる

ここを確かめてください

排紙ストッパーは開いていますか

対処方法

上面排紙トレイの排紙ストッパーを開けてください。



コピーできない

ここを確かめてください

コピーモードになっていますか

対処方法

<コピー> を押してコピーモードにしてください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください

① ケーブルが正しく接続されていますか

- 本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。)
- 複数の機器がコンピューターに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。

② 本製品が通常で使用になるプリンターに設定されていますか

本製品のアイコンにチェックマークが付いているかを確認してください。付いていない場合は、以下の手順に従って、チェックマークを付けます。

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。

<Windows® 8、または Windows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。

<Windows® 7、または Windows Server® 2008 R2>

⑦ メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] にカーソルを合わせ、通常使うプリンタードライバーにチェックを入れます。

<Windows Vista®, または Windows Server® 2008>

⑦ メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。

③ 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか

⇒ 87 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

ここを確かめてください

④ オフラインの状態になっていませんか

対処方法

本製品がオフラインになっていないかを確認します。

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオフラインで使用する] をクリックし、チェックを外してください。

<Windows® 8,またはWindows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。

<Windows® 7,またはWindows Server® 2008 R2>

④ メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。

<Windows Vista®,またはWindows Server® 2008>

④ メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。

ここを確かめてください

⑤ 一時停止の状態になっていませんか

対処方法

本製品が一時停止の状態になっていないかを確認します。

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[NEC MultiWriter 200F- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。

<Windows® 8、またはWindows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[NEC MultiWriter 200F- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。

<Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2>

⑦ メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[NEC MultiWriter 200F- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。

<Windows Vista®, またはWindows Server® 2008>

⑦ メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

ここを確かめてください

⑥ 印刷待ちのデータがありませんか

対処方法

印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® 8, または Windows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® 7, または Windows Server® 2008 R2>

④メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows Vista®, または Windows Server® 2008>

④メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

ここを確かめてください

- ⑦ 印刷先（ポート）の設定が間違っていないか

対処方法

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® 8、またはWindows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2>

⑦メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows Vista®, またはWindows Server® 2008>

⑦メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

- ⑧ Adobe® Illustrator®を使用していますか

印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。

- ⑨ お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください

本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。

- ⑩ プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください

本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからコンピューターを再起動し、もう一度ドライバーをインストールしてください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに以下の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー／印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている用紙を使用しているかを確認してください。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
2. ドラムカートリッジとトナーカートリッジが正しく取り付けられているかを確認してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

印刷結果がかすれる



対処方法

- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。
- すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタードライバーの〔拡張機能〕タブで〔トナー節約モード〕のチェックがはずれているかを確認してください。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

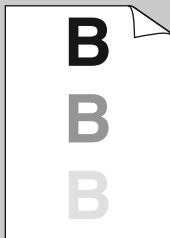
背景が灰色になる



- ご使用の用紙が本製品に適しているかを確認してください。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

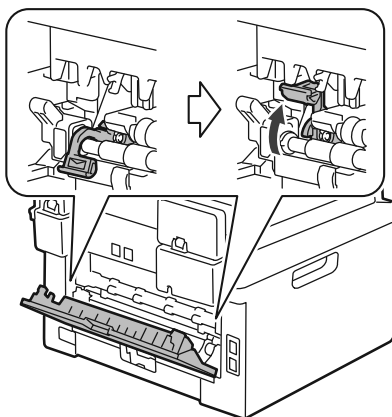
こんなコピー／印刷結果のときは

同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される



対処方法

- ご使用の用紙が本製品に適しているかを確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。
- 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 130 ページ「機能一覧」
- プリンタードライバーで、[印刷結果の改善] を選択して、設定を確認してください。
- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に上がっているかを確認してください。緑色レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。

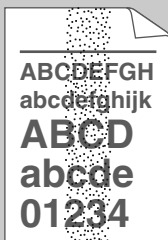


- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- 新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは

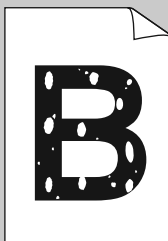
対処方法

トナー汚れが生じる



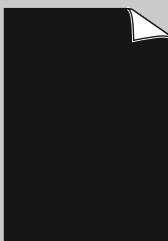
- コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- ご使用の用紙が本製品に適しているかを確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
- ドラムカートリッジが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジを挿入してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

印字部がところどころ白く欠ける



- ご使用の用紙が本製品に適しているかを確認してください。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
- プリンタードライバーの「[用紙種類]」で「[超厚紙]」を選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をご使用ください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。
- ドラムカートリッジが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジを挿入してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

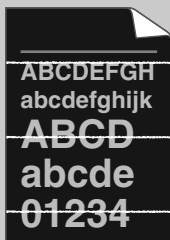
真っ黒なページが印刷される



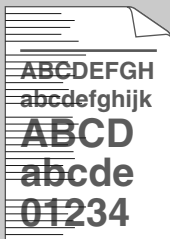
- ドラムカートリッジ内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるかを確認してください。⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- ドラムカートリッジが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

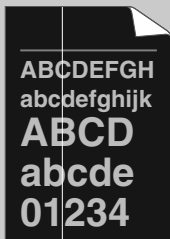
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる



印刷されたページに、平行な線が現れる



印刷されたページに、白い線が縦方向に現れる



対処方法

- ご使用の用紙が本製品に適しているかを確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。
- 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 130 ページ「機能一覧」
- 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。
- この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してください。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- ドラムカートリッジが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジを挿入してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- ドラムカートリッジ内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置 (▲) に戻してあるかを確認してください。⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

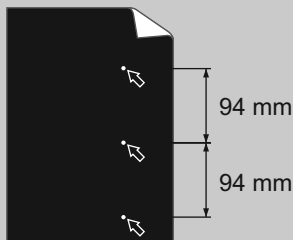
- 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。
- トナー残量が少なくなっているか、またはトナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジを挿入してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

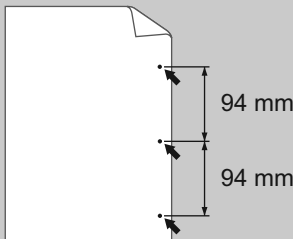
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる



黒い文章や画像が印刷されたページに規則的な点が現れる



白い文章や画像が印刷されたページに規則的な点が現れる



対処方法

- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- 数ページ印刷してもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムカートリッジに交換してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

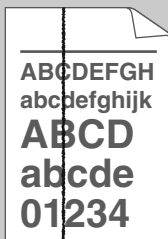
- 数ページ印刷してもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジを挿入してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

黒い汚れが平行に繰り返し入る



印刷されたページに、線が縦方向に現れる



対処方法

- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
- トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- ご使用の用紙が本製品に適合しているかを確認してください。⇒ 22 ページ「用紙（記録紙）の基本」を参照してください。
- ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムカートリッジを清掃してください。⇒ 69 ページ「ドラムカートリッジの清掃」を参照してください。
- ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。
- 開封されたドラムカートリッジは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。

- ドラムカートリッジ内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
ドラムカートリッジの緑色のつまみが元の位置（▲）にあるかを確認してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムカートリッジに交換して試してください。⇒ 80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
- トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは

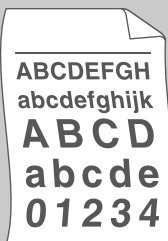
対処方法

斜めに印刷される



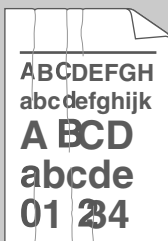
- 用紙やその他のメディアが標準トレイに正しく挿入されているかを確認してください。また、用紙ガイドが用紙の大きさに合っているかを確認してください。
- 用紙ガイドを正確にセットしてください。用紙ガイドのツメが溝にしっかりとハマっているかを確認してください。⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。
- 手差しスロットをご使用の場合は⇒ 28 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。
- 標準トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。
- 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ 22 ページ「用紙(記録紙)の基本」を参照してください。
- 両面印刷時にこの問題が発生した場合は、以下を確認してください。
 - ・両面トレイが完全にセットされているか
 - ・バックカバーが完全に閉じられているか
 - ・両面トレイに破れた用紙がつかまっているか

カールしたり波打って印刷される



- 用紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙のカールが起きることがあります。⇒ 22 ページ「用紙(記録紙)の基本」を参照してください。
- 本製品を長時間使用していないと、用紙が標準トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、用紙をさばいてから向きを 180 度回転させてください。
- バックカバー(背面排紙トレイ)を開いて、印刷してください。詳細は、⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。
- プリンタードライバーで、[印刷結果の改善]を選択して、設定を確認してください。

しわが寄ったり折れ曲がって印刷される



- 用紙が正しく給紙されているかを確認してください。⇒ 26 ページ「標準トレイから印刷する」を参照してください。
- 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ 22 ページ「用紙(記録紙)の基本」を参照してください。
- トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてください。

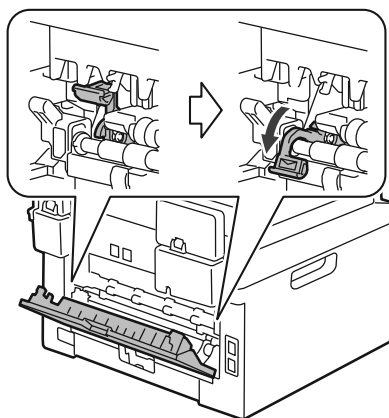
こんなコピー／印刷結果のときは

封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される



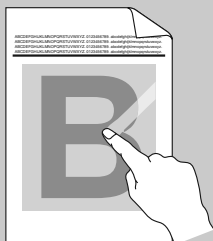
対処方法

- 封筒のフラップの向きを180度回転させてください。しわが改善されることがあります。
- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に下がっているかを確認してください。緑色レバーが上がっている場合は、レバーを下げてください。



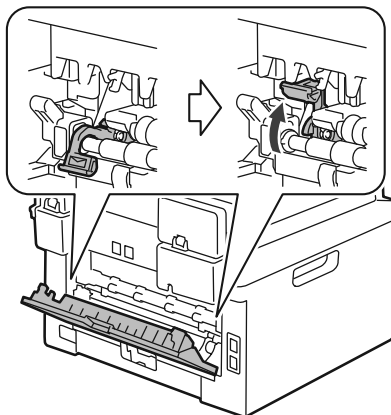
こんなコピー／印刷結果のときは

印刷された箇所を指でこすると汚れる



対処方法

- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に上がっているかを確認してください。緑色レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。



- プリンタードライバーの設定で「トナーの定着を改善する」を選択してください。詳細は、「印刷結果の改善」を選択して、設定を確認してください。
- 数ページしか印刷しない場合は、プリンタードライバーの設定で用紙の種類を、より厚い用紙に変更してください。

丸まって印刷される



- プリンタードライバーの設定で「用紙のカールを軽減する」を選択してください。詳細は、「印刷結果の改善」を選択して、設定を確認してください。
- トレイの中の用紙を裏返して、再度印刷してください。（レターヘッドのある用紙は除く。）

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Presto! PageManagerで[ファイル] - [ソースの選択] - [ソースを選択] ダイアログボックスで[TW-NEC MultiWriter 200F]を選択し、[OK] をクリックしてください。 Macintoshの場合、[ファイル] - [取り込みデバイスを選択] の選択をして、NEC TWAIN ドライバーを選択し、[選択] をクリックしてください。
OCRが使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 21 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	- 電話線を正しく接続してください。 - 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の<オンフック>を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒ 39 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。
送信確認レポートで、結果欄にエラーと印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているかを確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。

ここを確かめてください

対処方法

IPフォンを使用していますか

ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。

IP網を使用した専用線を使用していますか

【安心通信モード】を【標準】に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

ADSL環境ですか

- ・ブランチ（並列）接続をしないでください。
- ・ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは

対処方法

自動受信できない

- ・呼び出しベル回数が多すぎないかを確認してください。受信モードのときは呼び出しベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼び出しベル回数を 2 回以下に設定してください。⇒46 ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。または、手動で受信してください。
- ・自動で用紙に印刷したいときは、【転送 / メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

リモート受信できない

- ・【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ・リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ・メモリーがいっぱいになっている場合があります。メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない

【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

それでも受信できないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

IP網を使用している

「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

こんなときは

対処方法

ファクスを複数枚送信できない

- ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。
- 原稿台ガラスを使用する場合リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリーの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください

対処方法

トーン信号（ピッポッパッ）が出せない
電話機からかけていませんか

トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは

対処方法

受信したファクスが分割されて2ページに印刷される

【自動縮小】を【オン】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

受信したファクスの画像が乱れる

- 相手に画質を変更して送信してもらってください。
- ブランチ（並列）接続はしないでください。

受信したファクスに縦の線が現れる

- ドラムカートリッジ内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを2～3回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるかを確認してください。⇒68 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
清掃後も線が現れる場合は、ドラムカートリッジを新しいものに交換してください。⇒80 ページ「ドラムカートリッジの交換」を参照してください。
それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口へご連絡ください。
- 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

こんなときは

受信したファクスに、水平の線が現れる
または、行が抜ける



対処方法

- ・回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。
- ・【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VolP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
- ・相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

相手側で受信したファクスが鮮明でない



- ・原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ・ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

送信したファクスに縦の線が現れる



原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

送信したファクスに横の線が現れる



- ・キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 45 ページ「電話モード」を参照してください。
- ・【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VolP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください

受話器から「ツー」という音が聞こえますか



対処方法

本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話(EXT.) 端子に接続していることを確認してください。

ひかり電話を使用していますか



- ・手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- ・一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください

電源は入っていますか

ひかり電話を使用していますか

ISDNを使用していますか

ISDN回線で、複数の回線を契約していますか

対処方法

本製品の電源がオンになっているかを確認してください。また電源コードも確認してください。

VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているかを確認してください。場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

- ターミナルアダプタの電源が入っているかを確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。異常があった場合は NTT 故障係（113）にご連絡ください。
- 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
- 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

- ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。
- まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください

【親切受信】が【オン】に設定されていませんか

対処方法

本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違えて、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ（並列）接続をしないでください。
電話番号が表示されない	・ブランチ（並列）接続をしないでください。 ・NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDNを使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているかを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているかを確認してください。場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください

USBケーブルやLANケーブルが長すぎませんか、破損または故障していませんか

- USB ケーブルは標準添付のものをご使用願います。
- ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。

インターフェイス切替器を使用していますか

インターフェイス切替器を取り外して、コンピューターを直接本製品に接続してください。

ネットワークに関するトラブル

ここを確かめてください

有線LANの設定が間違っていますか

【ネットワーク設定リスト】(⇒ 136 ページ「7. ネットワーク設定リスト」)を印刷し、有線 LAN の設定を確認してください。
有線 LAN の設定については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

無線LANの設定が間違っていますか

【無線 LAN レポート】(⇒ 136 ページ「8. 無線 LAN レポート」)を印刷し、無線 LAN の設定を確認してください。
無線 LAN の設定については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない (Windows®のみ)

ここを確かめてください

プリンタードライバーの「パターン印刷を改善する」を設定していますか

対処方法

- 以下の手順で設定を確認してください。
- 1 [基本設定] タブで [印刷設定] のプルダウンメニューから [手動設定] を選択する。
 - 2 [手動設定] をクリックし、[パターン印刷を改善する] のチェックボックスがチェックされていることを確認する。

コンピューターの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

ここを確かめてください

ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていないですか

対処方法

ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した (Windows®のみ)

ここを確かめてください

ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか

対処方法

接続失敗のエラーメッセージ画面から[検索]をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器(本製品)を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

スピーカーからの音(キータッチ音など)が割れる

ここを確かめてください

スピーカーの近くにアンテナがありませんか

対処方法

アンテナをスピーカーから遠ざけてください。

印刷速度がとても遅い

ここを確かめてください

印刷品質が高品質になっていませんか

スリープモードにいませんか

バックカバー(背面排紙トレイ)が完全に閉じていますか

対処方法

プリンタードライバーの設定を変更してください。

スリープモードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。

バックカバーが完全に閉じているかを確認してください。

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください

液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか

対処方法

液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「画面設定」を参照してください。

Macintoshに接続したプリンターが表示されない

ここを確かめてください

ケーブルが正しく接続されていますか

プリンタードライバーはインストールされていますか

対処方法

ケーブルを正しく接続してください。

プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。

- Mac OS X 10.7.5、OS X 10.8 の場合
[システム環境設定] - [プリントとスキャン] をクリックし、本製品が表示されているかを確認してください
- OS X 10.9 の場合
[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] をクリックし、本製品が表示されているかを確認してください。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください

UPS（無停電電源装置）を使用していますか

対処方法

本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

その他

ここを確かめてください

印刷すると照明がちらついたり、コンピュータのディスプレイ表示が不安定になっていませんか

対処方法

コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。
本製品の電源を別系統のコンセントに接続してください。

修理に出す前に

修理依頼について

以下の点を同意の上、修理依頼をお願いします。

- 修理作業においてプリンター内のデータが失われる場合があります。この場合当社では責任を負うことができませんので、あらかじめご承知おきください。
- 修理作業において取り外した部品の所有権は当社に帰属し、当該部品はご返却いたしかねますのであしからずご了承ください。
- 本体に保存されたデータ（電話帳データ、受信データ等）の復旧依頼、バックアップ依頼は、対応しかねますのでご了承ください。

サービス窓口の電話番号、受付時間については
「<http://jpn.nec.com/prINTER/laser/support/>」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。
また、修理にお出しいただくときは、梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して

本機を修理に出す際は、本体に保存された宛先表データはあらかじめコンピューター上にバックアップをとり、本体のデータは削除してください。修理時にデータが失われる場合があります。次の方法で、本体の電話帳データのバックアップ、削除ができます。

- ・ 本体に保存された電話帳データは、ControlCenter4 を使用してお使いのコンピューターにエクスポートすることができます。データのエクスポートについての詳細は、ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- ・ 本体に保存された電話帳データは、操作パネルの<メニュー>→<0>→<7>→<3>で削除することができます。詳細についてはユーザーズガイド応用編の「設定機能の初期化」を参照してください。

補足

電話帳データは個人情報が含まれていますので、お客様の責任で削除をお願いします。

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。液晶ディスプレイに表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。

<メニュー>ボタン

操作パネルの<メニュー>を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
1. 初期設定モード	—	—	ファクス コピー スキャン	初期設定モードを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
2. モードタイマー	—	—	5 分 2 分 1 分 30 秒 0 秒 切	初期設定モードで設定している モードに戻る時間を設定します。 「切」を選択すると、最後に使っ たモードを保持します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
3. 用紙設定	1. 用紙タイプ	—	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 超厚紙 再生紙 郵便ハガキ	標準トレイにセットする用紙のタ イプを設定します。	⇒32 ページ
	2. 用紙サイズ	—	A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 JIS B5 ハガキ	標準トレイにセットする用紙のサ イズを設定します。	⇒32 ページ
	3. トレイ開閉時 確認	—	オン オフ	本体の設定と標準トレイにセッ トした用紙サイズが一致しているか を確認します。【オン】に設定す ると、トレイの用紙設定を促す メッセージを表示します。	⇒32 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
4.音量	1.着信音量	—	大 虫 小 切	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ボタン確認 音量	—	大 虫 小 切	操作パネルのボタンを押したときの 音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.スピーカー 音量	—	大 虫 小 切	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
5.省エネモード	1.トナー節約 モード	—	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。 【オン】に設定すると、印字結果が 薄くなります。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.スリープ モード	—	1分 (0-50分)	スリープ状態になるまでの時間を 設定します。消費電力を節約する ことができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.静音モード	—	オン オフ	本製品の印刷時の動作音を静かに することができます。【オン】に設 定すると、動作音を静かになりま すが、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
6.画面のコントラ スト	—	—	■□□□□+ -□■□□□+ -□□■□□+ -□□□■□+ -□□□□■+	液晶ディスプレイのコントラスト を調整します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
7.セキュリティ設 定ロック	—	—	オン パスワード設定	暗証番号を設定し機能設定をロッ クします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
8.原稿読み取り設 定	1.原稿台 スキャンサイズ	—	A4 USレター	原稿台ガラスからファクスを送信 するときに読み取りサイズを設定 します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ファイル サイズ	1.カラー	大 虫 小	スキャンするときのファイルサイ ズを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		2.グレー	大 虫 小		⇒ユーザーズ ガイド 応用編
9.トナー継続使用	—	—	オン オフ	トナー停止の表示がされるまで印 刷を行うことができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

ファクス

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
1.呼出ベル回数	—	—	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒46 ページ
2.受信設定	1.ファクス無鳴動受信	—	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないにします。	⇒47 ページ
	2.受信モード	—	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒46 ページ
	3.再呼出ベル回数	—	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒47 ページ
	4.親切受信	—	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の<スタート>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5.リモート受信	—	オン（起動番号：#51） オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6.自動縮小	—	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7.受信スタンプ	—	オン オフ	ファクス印刷するとき受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	8.両面印刷	—	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
3.送信設定	1.原稿濃度	—	自動 薄く 濃く	原稿に合わせて濃度を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ファクス画質	—	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。 ここで設定した内容は次に変更する まで有効です。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.タイマー送信	—	指定時刻=00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻 を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	4.リアルタイム 送信	—	オン オフ	メモリーを使わずに原稿を読み取り ながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	5.送付書	1.設定	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定し ます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		2.コメント編集	5. 6.	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	6.海外送信 モード	—	今回のみ:オン オン オフ	海外にファクスを送るときに設定し ます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	7.送信先表示	—	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を液晶ディ スプレイに表示します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
4.迷惑指定	8.自動再ダイヤ ル	—	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	1.登録	—	—	迷惑リストを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.削除				
	3.印刷				
5.電話帳登録	1.電話帳／ ワンタッチ	—	—	ワンタッチボタン1～8にファクス番 号や相手の名前を登録します。	⇒49 ページ
	2.電話帳／ 短縮	—	—	3桁の短縮番号(001～200)に ファクス番号や相手の名前を登録し ます。	⇒50 ページ
	3.電話帳／ グループ	—	—	複数の相手をグループ(1～20)と して登録します。	⇒51 ページ
6.レポート設定	1.送信結果 レポート	—	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ レポート出力しない	ファクス送信後に送信結果を印刷す るかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.通信管理間隔	—	50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと レポート出力しない	通信管理レポートを印刷する間隔を 設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
7. 応用機能	1. 転送／メモリ受信	—	ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 オフ	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2. PCファクス受信	—	オン オフ	【オン】に設定すると、本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3. 暗証番号	—	暗証番号： ---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	4. ファクス出力	—	—	メモリ受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときを使用します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
8. ダイヤル制限機能	1. 直接入力	—	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2. ワンタッチダイヤル	—	2度入力 オン オフ		
	3. 短縮ダイヤル	—	2度入力 オン オフ		
9. 通信待ち一覧	—	—	—	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
0. その他	1. 安心通信モード	—	高速 標準 安心 (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2. ナンバーディスプレイ	—	あり(本製品に表示) あり(外付け電話に表示) なし	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

コピー

メインメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
1.コピー画質	—	自動 テキスト 写真 レシート	画質を調整します。	⇒60 ページ
2.明るさ	—	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□■+	明るさを調整します。	⇒60 ページ
3.コントラスト	—	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□■+	コントラストを調整します。	⇒61 ページ
4.IDコピー	1.コピー画質	自動 明るめ	画質を調整します。	⇒62 ページ
	2.明るさ	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□■+	明るさを調整します。	⇒62 ページ
	3.コントラスト	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□■+	コントラストを調整します。	⇒62 ページ
	4.2in1/1in1	2 in 1 1 in 1	【2 in 1】を選択すると、ID カードや身分証明書などカードサイズの表裏を 1 枚の用紙に割り付けてコピーします。	⇒62 ページ

プリンター

詳しくは、⇒ユーザズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.テストプリント	—	—	テストチャートを印刷します。
2.両面印刷	—	オフ オン（長辺とじ） オン（短辺とじ）	両面印刷時の内容を設定します。
3.エラー解除	—	オン オフ	【オン】に設定すると、用紙サイズのエラーを自動解除して、標準トレイにセットされた用紙を使用して給紙を継続します。
4.プリンター リセット	—	1.決定 2.キャンセル	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

レポート印刷

詳しくは、⇒ユーザズガイド 応用編「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.送信結果レポート	1.表示	—	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	2.印刷	—	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2.電話帳リスト	1.メモリ番号順	—	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。
	2.名前順	—	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。
3.通信管理レポート	—	—	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
4.プリンター設定リスト	—	—	プリンターの設定値内容を印刷します。
5.設定内容リスト	—	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6.着信履歴リスト	—	—	着信した履歴を印刷します。
7.ネットワーク設定リスト	—	—	ネットワークの設定内容を印刷します。
8.無線LANレポート	—	—	無線LANの現在の接続状況を印刷します。

ネットワーク

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
1.有線LAN	1.TCP/IP設定	1.IP取得方法	－	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP アドレスの取得方法を指定します。
		2.IP アドレス	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (169.254.XXX.XXX)	IPアドレスを設定します。
		3.サブネットマスク	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (255.255.0.0)	サブネットマスクを設定します。
		4.ゲートウェイ	－	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5.ノード名	－	BRNxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		6.WINS設定	－	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7.WINSサーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
		8.DNSサーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
		9.APIPA	－	オン オフ	APIPAを設定します。
		0.IPv6	－	オン オフ	IPv6を設定します。
	2.イーサネット	－	－	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10BFD/ 10B-HD：それぞれのリンクモード に固定されます。
	3.接続状態	－	－	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 有線LANオフ 未接続	有線LANの接続状態を表示します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
1.有線LAN	4.MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	5.初期設定に戻す	—	—	決定 キャンセル	有線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	6.有線LAN有効	—	—	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
2.無線LAN	1.TCP/IP設定	1.IP取得方法	—	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP アドレスの取得方法を指定します。
		2.IP アドレス	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (169.254.XXX.XXX)	IPアドレスを設定します。
		3.サブネットマスク	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (255.255.0.0)	サブネットマスクを設定します。
		4.ゲートウェイ	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5.ノード名	—	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		6.WINS設定	—	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7.WINSサーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
		8.DNSサーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
		9.APIPA	—	オン オフ	APIPAを設定します。
		0.IPV6	—	オン オフ	IPv6を設定します。
	2.接続アシスタント	—	—	—	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN設定を行います。
	3.無線接続ウィザード	—	—	—	ウィザード形式で無線 LAN の設定をします。
	4.WPS/AOSS	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
	5.WPS (PINコード)	—	—	—	WPS (PINコード) で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
2.無線LAN	6.無線状態	1.接続状態	—	アクティブ (11b) アクティブ (11g) アクティブ (11n) 有線LAN アクティブ 未接続 AOSS アクティブ 接続失敗	接続状態を表示します。
		2.電波状態	—	強い 普通 弱い なし	電波状態を表示します。
		3.SSID	—	—	SSID (ネットワーク名) を表示します。
		4.通信モード	—	アドホック インフラストラクチャ	通信モードを表示します。
	7.MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	8.初期設定に戻す	—	—	決定 キャンセル	無線 LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	9.無線LAN有効	—	—	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
3.Wi-Fi Direct	1.プッシュボタン接続	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Direct®ネットワーク接続ができます。
	2.PINコード接続	—	—	—	WPS (PIN方式) で簡単にWi-Fi Direct®ネットワーク接続ができます。
	3.手動接続	—	—	—	手動でWi-Fi Direct®ネットワーク接続ができます。
	4.グループオーナー	—	—	オン オフ	本製品をグループオーナーに設定できます。
	5.デバイス情報	1.デバイス名	—	(デバイス名)	デバイス名を表示します。
		2.SSID	—	(自分のSSID) (接続相手のSSID) 未接続	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。
		3.IP アドレス	—	—	本製品のIPアドレスを表示します。
	6.接続情報	1.接続状態	—	グループオーナー (**) クライアント アクティブ 未接続 オフ 有線LAN アクティブ	接続状態を表示します。 (**) は接続数
		2.電波状態	—	強い 普通 弱い なし	電波状態を表示します。
	7.インターフェース有効	—	—	オン オフ	Wi-Fi Direct® 接続の有効 / 無効を設定します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
4.スキャン to FTP	—	—	—	カラー 600 dpi カラー 300 dpi カラー 200 dpi カラー 100 dpi カラー 自動 グレース 300 dpi グレース 200 dpi グレース 100 dpi グレース 自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100 dpi	ファイルの種類を設定します。
0.ネットワーク 設定/リセット	—	—	—	1.決定 2.キャンセル	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

製品情報

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.シリアル No.	—	—	シリアルNo.を表示します。
2.バージョン	—	—	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
3.印刷枚数表示	—	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷した枚数を表示します。
4.消耗品寿命	1.トナー寿命	BK ■■■■■■■■■■	使用中のトナーカートリッジ寿命を表示します。
	2.ドラム寿命	残り:xxx%	使用中のドラムカートリッジ寿命を残り%で表示します。

サービス

【印刷できません】、【初期化できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
0.データ転送	1.ファクス転送	—	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒91 ページ
	2.レポート転送	—		

初期設定

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.時計セット	1.時計セット	—	現在の日付と時刻を設定します。
	2.タイムゾーン	UTC±xx:xx	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。
2.発信元登録	—	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号、電話番号を設定します。
3.回線種別設定	—	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。
4.ダイヤルトーン設定	—	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。
5.特別回線対応	—	一般 光・ISDN PBX	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。
6.外線番号	—	—	構内交換機 (PBX) 使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。
7.リセット	1.機能設定	1.リセット 2.キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
	2.ネットワーク	1.リセット 2.キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
	3.電話帳&ファクス	1.リセット 2.キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。
	4.全設定	1.リセット 2.キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。
	5.出荷状態リセット	1.リセット 2.キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。
0.表示言語	—	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.

主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

基本機能/コピー機能

型番	PR-L200F
形式	デスクトップ
メモリー容量	64MB（最大64MB）  出力データの種類や内容によっては、出力画像を保証できない場合があります。
ハードディスク容量	-
読み取り解像度	300×300 dpi（Photoモード時：600×600 dpi）
書き込み解像度	600×600 dpi、 スミージング機能（HQ1200）により2400 dpi相当×600 dpi
階調 / 表現色	256階調
ウォームアップ・タイム	29秒以下(電源投入時、室温23℃)
原稿サイズ	シート・ブック共に最大215.9×300 mm 自動原稿送り装置：最大215.9×355.6 mm
用紙サイズ	標準トレイ 最大：A4 最小：A6、郵便ハガキ 手差しスロット 最大：A4、215.9 mm×355.6 mm（リーガル） 最小：A6、郵便ハガキ、76.2×127 mm 画像欠け幅：先端 3.0 mm、後端 3.0 mm、左/右 2.1 mm
用紙種類	標準トレイ：60～105 g/m ² 、郵便ハガキ 185 g/m ² 手差しスロット：60～163 g/m ² 、郵便ハガキ 185 g/m ²  推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙ハガキは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。
ファーストコピー・タイム	10秒（A4） 自動原稿送り装置：11秒（A4）

複写倍率	等倍：1：1±1.4 % 固定倍率：50 %、70 %、83 %、87 %、91 %、94 %、97 %、100 %、115 %、141 %、200 % 任意倍率：25～400 % (1 %きざみ)
連続複写速度	片面印刷時：30枚/分 (A4)、13枚/分 (B5) 両面印刷時：15ページ/分 (A4)  - 画質調整のため速度が低下することがあります。 - 用紙設定によっては生産性が落ちることがあります。
給紙方式 / 給紙容量	標準トレイ：250枚、郵便ハガキ 30枚 手差しスロット：1枚 最大給紙容量：251枚 (標準)  80 g/m² (A4 用紙)。
連続複写枚数	99枚  画質安定化処理のため、機械の動作を一時的に中断することがあります。
出力トレイ容量	100枚  80 g/m² (A4 用紙)。 - 標準トレイ (フェイスダウン出力) の場合です。背面排紙トレイ (フェイスアップ出力) の場合は、A4 は 1 枚、郵便ハガキは 15 枚です。
電源	AC100 V±10 %、15 A、50/60 Hz共用  推奨コンセント容量。機械側最大電流は、8.8 A。
消費電力	最大：880 W、ディープスリープモード時：2.1 W
エネルギー消費効率	71 kWh/年 区分：複合機c  省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた複合機・複合機別の測定方法による数値。
大きさ	幅 409 × 奥行 399 × 高さ 317 mm
質量	10.7 kg (消耗品は除く)
機械占有寸法	幅 518 × 奥行 494 mm  フロントカバーおよび背面給紙トレイが開いている状態。
使用環境	温度：10 ～ 32.5 °C 湿度：20 ～ 80 % (結露しないこと)  使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。

耐久性（装置寿命）	5万頁印刷時（A4）もしくは5年の早い方  • 商品寿命ページ数は、A4 用紙を一度に 1 枚印刷した場合です。使用する用紙サイズ、一度に印刷するページ数、電源の ON/OFF 頻度などの条件により大きく前後する場合があります。
-----------	---

プリント機能

型式	内蔵型
連続プリント速度	基本機能/コピー機能に準する
書き込み解像度	600×600 dpi、 スムージング機能（HQ1200）により2400 dpi相当×600 dpi
ページ記述言語	-
対応プロトコル	TCP/IP（IPv4/IPv6：Ipd、Port9100、IPP）
対応 OS	Windows Vista®（32 ビット）、 Windows Server® 2008（32 ビット）、 Windows® 7（32 ビット）、 Windows® 8（32 ビット）、 Windows® 8.1（32 ビット）、 Windows Vista®（64 ビット）、 Windows Server® 2008（64 ビット）、 Windows Server® 2008 R2（64 ビット）、 Windows® 7（64 ビット）、 Windows® 8（64 ビット）、 Windows Server® 2012（64 ビット）、 Window® 8.1（64 ビット）、 Windows Server® 2012 R2（64 ビット）、 Mac OS X 10.7.5、OS X 10.8/10.9/10.10  • 最新の対応 OS については当社の公式サイトをご覧ください。
内蔵フォント	-
エミュレーション	-
インターフェイス	Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T*、USB2.0（Hi-Speed）、 IEEE802.11b/g/n*  • * 有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。初期設定は、有線 LAN です。

スキャン機能

形式	カラスキャナー
原稿サイズ	基本機能/コピー機能に準ずる
読み取り解像度	原稿台ガラス：600×1200 dpi (モノクロ)、600×2400 dpi (カラー) 自動原稿送り装置：600×600 dpi (モノクロ、カラー)
原稿読み取り速度	モノクロ：20 枚/分 カラー：7 枚/分 [当社標準原稿 (A4) 300×300 dpi]  • 原稿によって読み取り速度は異なります。
インターフェイス	プリント機能に準ずる

ファクス機能

送信原稿サイズ	原稿台ガラス 最大：A4 自動原稿送り装置 最大：A4、リーガル
記録紙サイズ	最大：A4 最小：A6
電送時間	約2.5秒  • A4 サイズの 700 字程度の原稿を標準画質 (8 × 3.85 本/mm)、高速モード (33.6 kbps：JBIG) 送信時。画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状況により異なります。
通信モード	ITU-T G3
走査線密度	標準：8×3.85 本/mm ファイン/写真：8×7.7 本/mm スーパーファイン：8×15.4 本/mm
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/ 4.8/2.4 kbps
適用回線	加入電話回線、PBX、最大1 ポート (G3-1 ポート)

ダイレクトファクス機能 (PC-FAX)

送信原稿サイズ	Windows OS : A4、レター、リーガル Mac OS : A4、レター、リーガル、A5、A6、B5、B6、郵便ハガキ
送信画質	Windows OS : 200×200 dpi、200×100 dpi Mac OS : 200×200 dpi  • 圧縮方式は MH のみです。
通信速度	ファクス機能に準ずる
適用回線	ファクス機能に準ずる
対応 OS	Windows Vista® (32 ビット)、 Windows® 7 (32 ビット)、 Windows® 8 (32 ビット)、 Windows® 8.1 (32 ビット) Windows Vista® (64 ビット)、 Windows® 7 (64 ビット)、 Windows® 8 (64 ビット)、 Windows® 8.1 (64 ビット) Mac OS X 10.7.5、OS X 10.8 / 10.9 / 10.10  • 最新の対応 OS については当社の公式サイトをご覧ください。

両面出力機能

自動両面可能用紙サイズ	A4
用紙坪量	60～105 g/m ²

自動原稿送り装置

原稿送り装置の種類	自動原稿送り装置
原稿サイズ	最大 : A4、リーガル 最小 : A5  • 非定形サイズでは、幅 147.3 ～ 215.9 mm × 長さ 147.3 ～ 355.6 mm です。
用紙坪量	64～90 g/m ²
原稿積載枚数	35枚  • 80 g/m ² (A4 用紙)
原稿交換速度	モノクロ : 19枚/分 (A4片面)

Wi-Fi認証について

この製品は、Wi-Fi Alliance™のWi-Fi製品IEEE802.11b/g/n認証を受けています。Wi-Fi Alliance™認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Alliance™と認証製品については、<http://www.wi-fi.org/>を参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS※1（PBC※2）のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※1：Wi-Fi Protected Setup™

※2：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、以下のいずれかのマークが表示されています。



停電がおきたときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。本製品のメモリーに保存されている「各種登録、設定内容」は本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

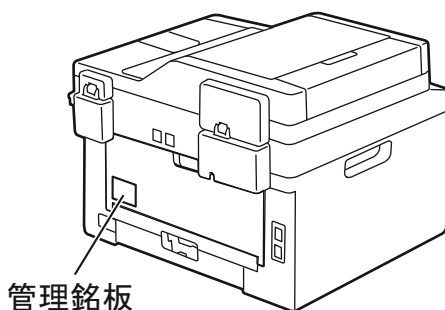
保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保障期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。

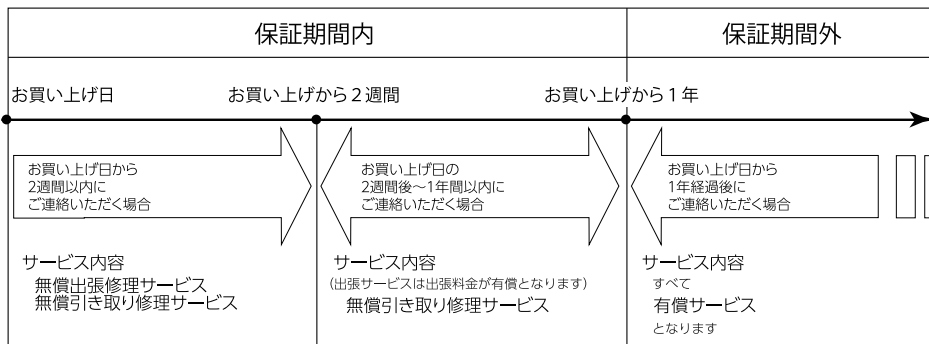
注 記

本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保証期間内の修理

保証期間内の保守サービスは以下のような種類があり、無料で修理いたします。



種類	保証期間	概要	受付窓口
無償出張修理サービス	お買い上げ日から2週間以内	お客様が修理サービス窓口へ故障のお問い合わせをし、受付窓口が出張による修理が必要だと判断した場合に、出張料金無償で修理に伺います。 (保証書記載の保証規定内の修理費用も無償です。)	・ 法人のお客様 NECフィールディング カスタマーサポート センター※1 0120-536-111
無償引き取り修理サービス	お買い上げ日から1年以内	お客様が引き取り修理サービス受付窓口へ故障のお問い合わせをし、当社指定配送業者が故障品を引き取りに伺います (無償) ※2、修理完了後に修理品をお引き取りした場所へお届け (無償) するサービスです。 (保証書記載の保証規定内の修理費用も無償です。)	・ 個人のお客様 NEC121コンタクト センター※3 0120-977-121

- ※1 受付時間：＜修理受付窓口＞月～金 9:00～18:00（土日祝および会社都合による休日を除く）
出張修理訪問時間：受付後、個別にご相談させていただきます。原則平日（月～金）、
定時間内（AM9:00～PM5:00）
引取訪問時間：宅配業者が事前連絡の上伺います。
- ※2 配送業者が梱包箱にパッキングし、お引き取りしますので、あらかじめ付属品を取り外しておいてください。また、修理品の設置・接続はお客様にて行ってください。
- ※3 受付時間：＜修理受付窓口＞9:00～21:00、年中無休
携帯電話などフリーコールをご利用いただけないお客様は、03-6670-6000（通話料はお客様負担）へおかけください。
出張修理訪問時間、引取訪問時間：※1と同じ

保証期間外の修理

保証期間外の保守サービスは以下のような種類があり、故障の内容などに応じて修理費が必要となります。

種類	概要	修理料金	お支払い方法	受付窓口
年間保守契約	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますので、ご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にそのつどお支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金	契約期間に応じて一括払い	法人のお客様 NECフィールディングカスタマーサポートセンター※¹ 0120-536-111
スポット出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますので、ご了承ください。）ご契約は不要です。	出張費＋技術料＋部品代	そのつど清算	個人のお客様 NEC121コンタクトセンター※² 0120-977-121
引き取り修理	最寄りのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。	技術料＋部品代		

※1 受付時間：＜修理受付窓口＞月～金 9:00～18:00（土日祝および会社都合による休日を除く）
出張修理訪問時間：受付後、個別にご相談させていただきます。原則平日（月～金）、
定時間内（AM9:00～PM5:00）

引取訪問時間：宅配業者が事前連絡の上伺います。

※2 受付時間：＜修理受付窓口＞9:00～21:00、年中無休
携帯電話などフリーコールをご利用いただけないお客様は、03-6670-6000（通話料はお客様負担）へおかけください。
出張修理訪問時間、引取訪問時間：※1と同じ

情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報

インターネット [NEC Web サイト]

URL：http://jpn.nec.com/printer/laser/

プリンターに関する使い方のご相談

121 コンタクトセンター

URL：http://121ware.com/121cc/

電話番号：0120-977-121

受付時間 9:00 ～ 19:00（年中無休）

リサイクル・廃棄のこと

使用済みカートリッジ回収について

・方法1

直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1本からでも、当社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

連絡先

EPカートリッジ回収センター

TEL：0120-30-6924 FAX：0120-30-8049

E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp

受付時間

9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

・方法2

お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

※回収を希望されないEPカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいようお願い申し上げます。

本製品の廃棄について

プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジおよび、ドラムカートリッジを取り外してお出してください。

索引

■ 索引の使いかた

- ・このページでは、本書と、「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」で説明されている項目を検索できます。

<ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク>

APIPA
BRAdmin Light
ControlCenter
DNS サーバー
IPP
IPv6
IP アドレス
IP 取得方法
NetBIOS name resolution
PC-FAX
POP3
SMTP
TCP/IP
TWAIN ドライバーの設定
Windows Image Acquisition (WIA) ドライバー設定
Windows® FAX とスキャン
Windows® フォトギャラリー
WINS サーバー
WINS 設定
イーサネット
印刷設定
インポート
ウェブブラウザ設定
エクスポート
解像度
ゲートウェイ
サブネットマスク
デジタル署名
スタンプ
スキャン用ドライバー
スキャン to E メール添付
スキャン to FTP
スキャン to OCR
スキャン to イメージ
スキャン to ファイル
ステータスマニター
セキュリティプロトコル
セキュリティ方式
電話帳登録
ネットワーク管理ソフトウェア
ネットワーク共有印刷
ネットワークスキャンの設定
ネットワーク設定レポート

ノード名
ピアツーピア
暗号化
プリンタードライバーの設定
プリンター設定値のリスト
ページの設定

<本書（ユーザーズガイド 基本編）>

数字

2 in 1 ID コピー 56, 62
2in1(ID) コピーボタン 14

A

ADF（自動原稿送り装置）
..... 33, 34, 37, 39, 54, 55, 64, 93, 94

N

N in 1 59

あ

明るさ 56, 60

え

液晶ディスプレイ 15
エラーメッセージ一覧 87

お

おすすめ機能 11
オプションボタン 14
オンフックボタン 14

か

解決のステップ 86
回線種別 21
拡大 / 縮小 56
拡大・縮小コピー 57
各部の名称 16
画質 56, 60
紙づまり 92

き

機能一覧	130
キャリアシート	33
給紙ローラー	71

け

原稿	33
原稿ガイド	34
原稿セット	33, 34
原稿台ガラス	35, 37, 39, 54, 55, 64, 67
原稿台スキャンサイズ	35

こ

コピー	54
コピー機能ボタン	14
コピー設定	56
困ったときには(コピー／印刷)	103
困ったときには(スキャン)	120
困ったときには(その他)	126
困ったときには(電話／ファクス)	120
コロナワイヤー	68
コントラスト	56, 61

さ

再梱包	83
再ダイヤル / ポーズボタン	14
再呼び出しベル回数	47

し

自動切換えモード	43
自動原稿送り装置	146
自動送信	36
シフトボタン	14
受信モード	42, 46
手動送信	39
使用できない用紙	24
消耗品	72

す

スキャナー読み取り部	67
スキャン	64
スキャン機能	145
スタートボタン	15

せ

清掃	66
セットできる用紙	23

そ

操作パネル	14
ソートコピー	56, 57
外付け留守電モード	44

た

ダイヤル回線	21
ダイヤルボタン	15, 17, 38, 55
ダイレクトファクス機能(PC-FAX)	146

ち

中止	39
直接入力	38

て

定期メンテナンス	66
停止 / 終了ボタン	15
手差しスロット	28, 95
電源	18
電源ボタン	15
電話回線	21
電話帳	38, 48
電話帳に登録する	49
電話モード	45

と

時計セット	18
トナーカートリッジ	73, 77
トナーカートリッジ交換のメッセージ	77
ドラムカートリッジ	69, 73, 80
ドラムカートリッジ交換のメッセージ	80

な

ナビゲーションキー	15
-----------------	----

は

背面	97
発信元登録	19

ふ

ファクス機能	145
ファクス機能ボタン	14
ファクス受信	40
ファクス専用モード	42
ファクス送信	36
ブッシュ回線	21
プリント	63

ま

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ ...	77
---------------------------	----

め

メモリがいっぱいです	90
メンテナンス	66

も

モード選択ボタン	15
----------------	----

ゆ

有線 LAN	126
--------------	-----

よ

用紙	22
用紙のサイズ	23, 32
用紙の種類	23
用紙のタイプ	32
呼び出しベル回数	46

り

リモコンアクセス	155
両面コピー	56, 58
両面出力機能	146
両面ボタン	14

れ

レイアウトコピー	56, 59
----------------	--------

わ

ワンタッチボタン	14
----------------	----

—(キリトリ線)—

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ビピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ビッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)	951
ファクス転送に設定(※2)	952
電話呼び出しに設定(※2)	953
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号+##
メモリ受信を設定	956
ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック(※3)	ファクス 971

操作内容		ボタン操作
受信モードの 変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1: 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。

※2: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※3: 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ビビビッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

MultiWriter 200F

ユーザーズガイド 基本編

発行年月－ 2015 年 10 月 第 1 版

MB3605J9-2

発行者－日本電気株式会社